



豊橋市
予算の
見どころ

令和6年度

育み 成長を支え
未来を拓くまちづくり予算

豊橋市

目次

▶ 令和6年度 豊橋市予算の紹介	03
▶ 一般会計の財政状況	05
▶ 重点的に推進する取組み	
・ 笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』の取組み	12
・ 活力みなぎる『しごとづくり』の取組み	18
・ 選ばれ集う『ひとの流れづくり』の取組み	22
・ 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』の取組み	25
▶ 分野別計画に基づく主な取組み	
・ 豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち	30
・ 活力みなぎり、はつらつと働けるまち	34
・ 命の安全、心の安心が確保されたまち	38
・ みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち	42
・ 互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち	49
・ 魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち	53
・ 自然と共生し、地球環境を大切にするまち	57
・ 暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち	62
・ その他	66

※ 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

令和6年度 豊橋市予算の紹介

育み 成長を支え 未来を拓くまちづくり予算

予算の特徴

新年度は、目指すまちの姿「未来を担う人を育むまち・豊橋」の実現に向けた取組みを着実に進め、本市が「選ばれるまち」となるため、まちづくり戦略の推進を引き続き重点化事項と定めるとともに、未来への投資を積極的に行います。

重点的に推進する取組み

まちづくり 戦略

笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』

子育てにかかる負担軽減に向け、小中学校等の給食費を半額軽減するほか、質の高い教育を推進するため、教員業務支援員の配置による教員の専門性を発揮できる環境の整備や、小中学校等の体育館等への空調設備の導入に向けた調査・検討を行います。

活きみなぎる『しごとづくり』

リスキリングを中心とした新たな学びの仕組みを構築し、社会環境の変化に対応できる主体性のある産業人材の育成を支援するほか、農業系スタートアップと農家・企業との連携を支援することで、農業者の課題を解決し、持続可能な農業の実現をめざします。

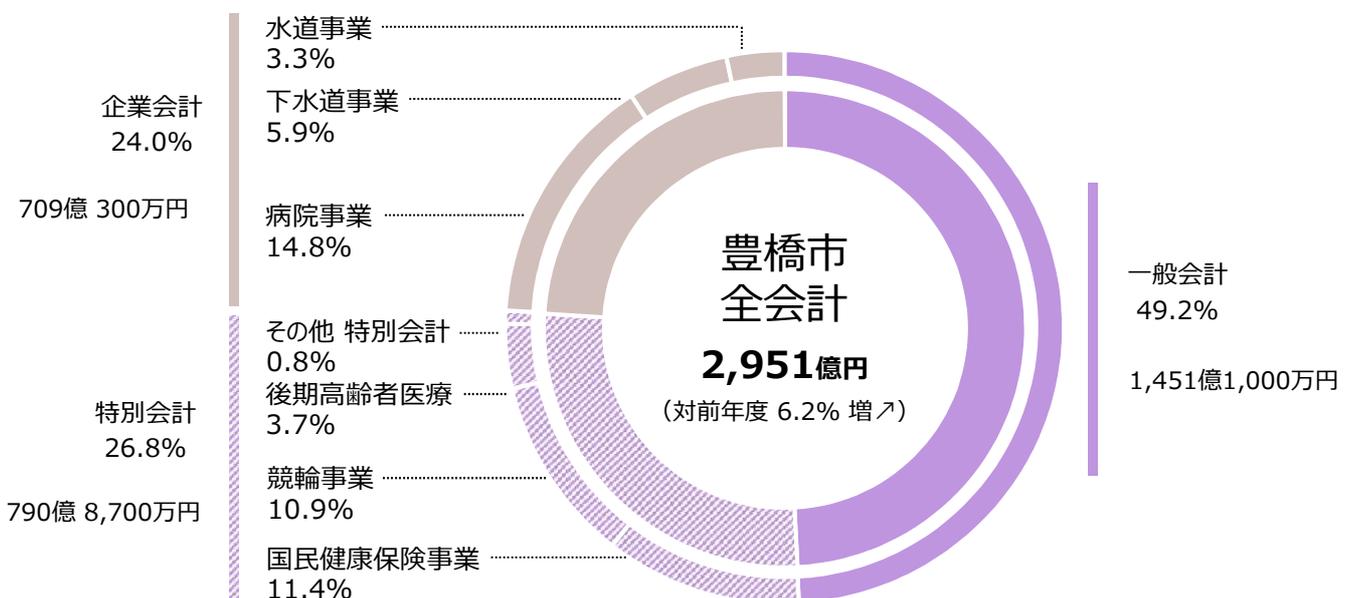
選ばれ集う『ひとの流れづくり』

多目的屋内施設を核とした豊橋公園東側エリアの整備を進め、市民のスポーツ環境の充実を図るとともに、魅力的な興行などによりまちのにぎわい創出につなげます。また、民間と連携し、ゲームやアニメなどのコンテンツを活用した市内周遊イベント等を実施することで、新たな観光需要を創出します。

持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』

地域防犯力や防犯意識の向上をめざし、警察・地域住民・学校などと連携した総合的な防犯対策を推進するとともに、市境をまたいだバス運行やキャッシュレス化の導入により公共交通の利便性の向上を図るほか、動物愛護の推進拠点としての「動物愛護センター（仮称）」の建設に着手します。

予算規模



会計別予算

一般会計

1,451 億 1,000 万円(対前年度 75億9,760万円 5.5% 増↗)

豊橋田原ごみ処理施設整備事業や市立高等学校整備事業などの大型事業のほか、義務的経費である人件費や扶助費、施設の老朽化対策による経費に加え、国の低所得世帯支援給付金等に係る経費の増により、全体で5.5%増加し過去最大規模となりました。

特別会計

790 億 8,700 万円(対前年度 72億5,800万円 10.1% 増↗)

競輪事業において全日本選抜競輪（G I）の開催により予算規模が大きく増加したほか、被保険者の増加と保険料率の改定に伴う後期高齢者医療の増や保険給付費の増加に伴う国民健康保険事業の増などにより、特別会計全体で10.1%増加しました。

競輪事業	321億1,700万円 19.6% 増↗	国民健康保険事業	336億4,700万円 2.6% 増↗
総合動植物公園事業	20億7,200万円 5.8% 増↗	公共駐車場事業	1億9,100万円 31.7% 増↗
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	2,300万円 8.0% 減↘	後期高齢者医療	110億3,700万円 9.9% 増↗

企業会計

709 億 300 万円(対前年度 23億8,500万円 3.5% 増↗)

水道事業における配水場などの整備事業の減があったものの、下水道事業におけるストックマネジメント事業や病院事業における病院総合情報システムの構築などの増により、企業会計全体で3.5%増加しました。

水道事業	98億6,900万円 2.6% 減↘	下水道事業	173億9,700万円 2.0% 増↗
病院事業	436億3,700万円 5.6% 増↗		

〔参考〕前年度当初予算額

一般会計	1,375 億 1,240 万円	特別会計	718 億 2,900 万円	企業会計	685 億 1,800 万円
全会計	2,778 億 5,940 万円				

一般会計の財政状況

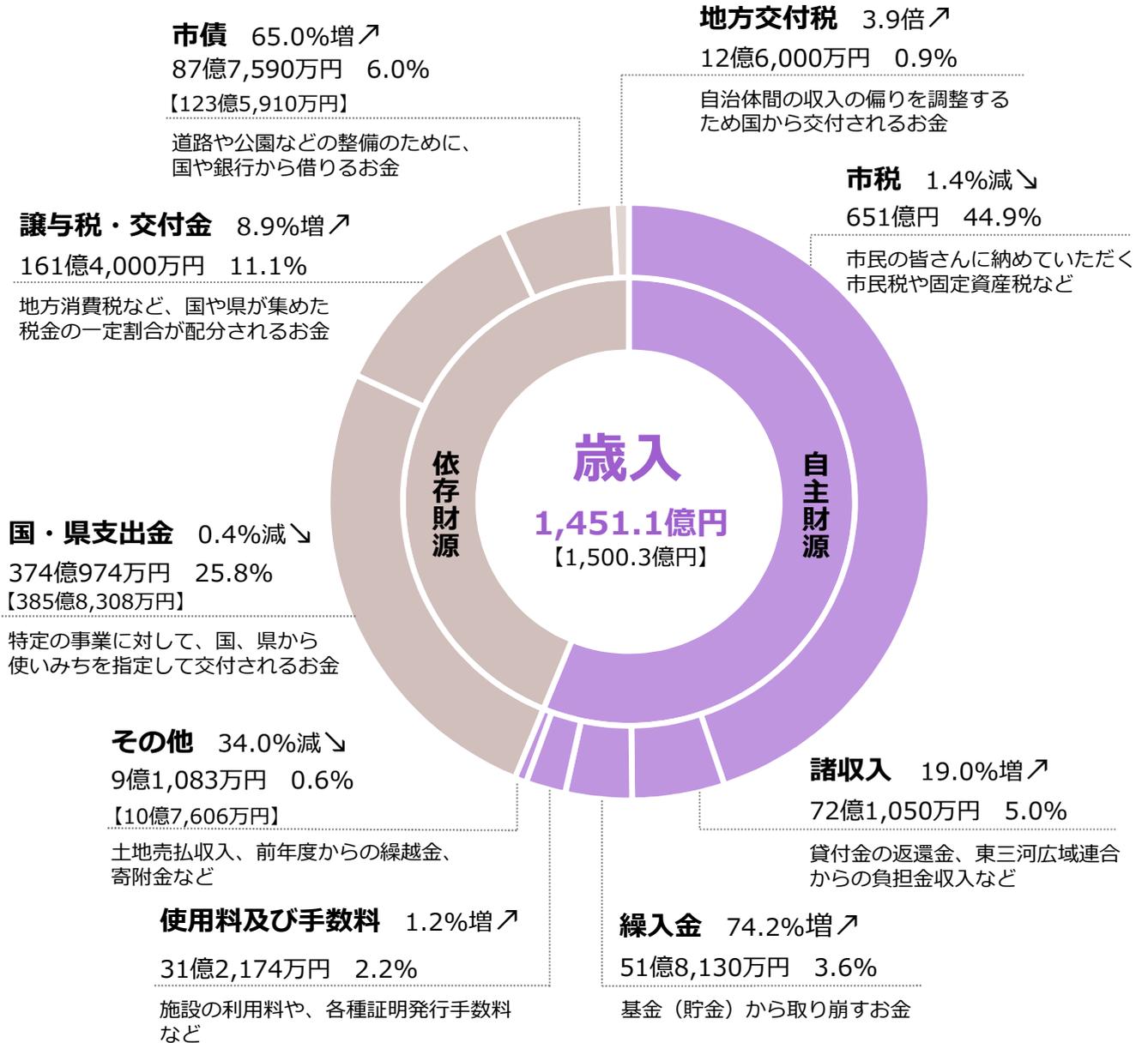
令和6年度 歳入の内訳

歳入総額 1,451億1,000万円

- ・市税収入は、企業業績の回復による法人市民税の増、企業の設備投資による償却資産の増加に伴う固定資産税の増などを見込む一方、国の施策である定額減税の影響による個人市民税の減を見込み、前年度比1.4%減の651億円
- ・市税などの歳入状況等を踏まえ、普通交付税6億3,000万円、臨時財政対策債1億円を計上
- ・市債は、ごみ処理施設整備事業や市民文化会館整備事業などの大型事業の増などにより前年度比65.0%増の87億7,590万円

歳入

P.5~7の【 】内は、令和6年度当初予算の前倒しとして、令和5年度の補正予算に計上し繰り越すものを加えた額



自主財源 … 市が自主的に収入できる財源。この割合が高いほど安定的で自主的な財政運営が可能であるといえる

依存財源 … 国や県の基準により交付または割り当てられる財源

令和6年度 歳出の内訳

歳出総額 1,451億1,000万円

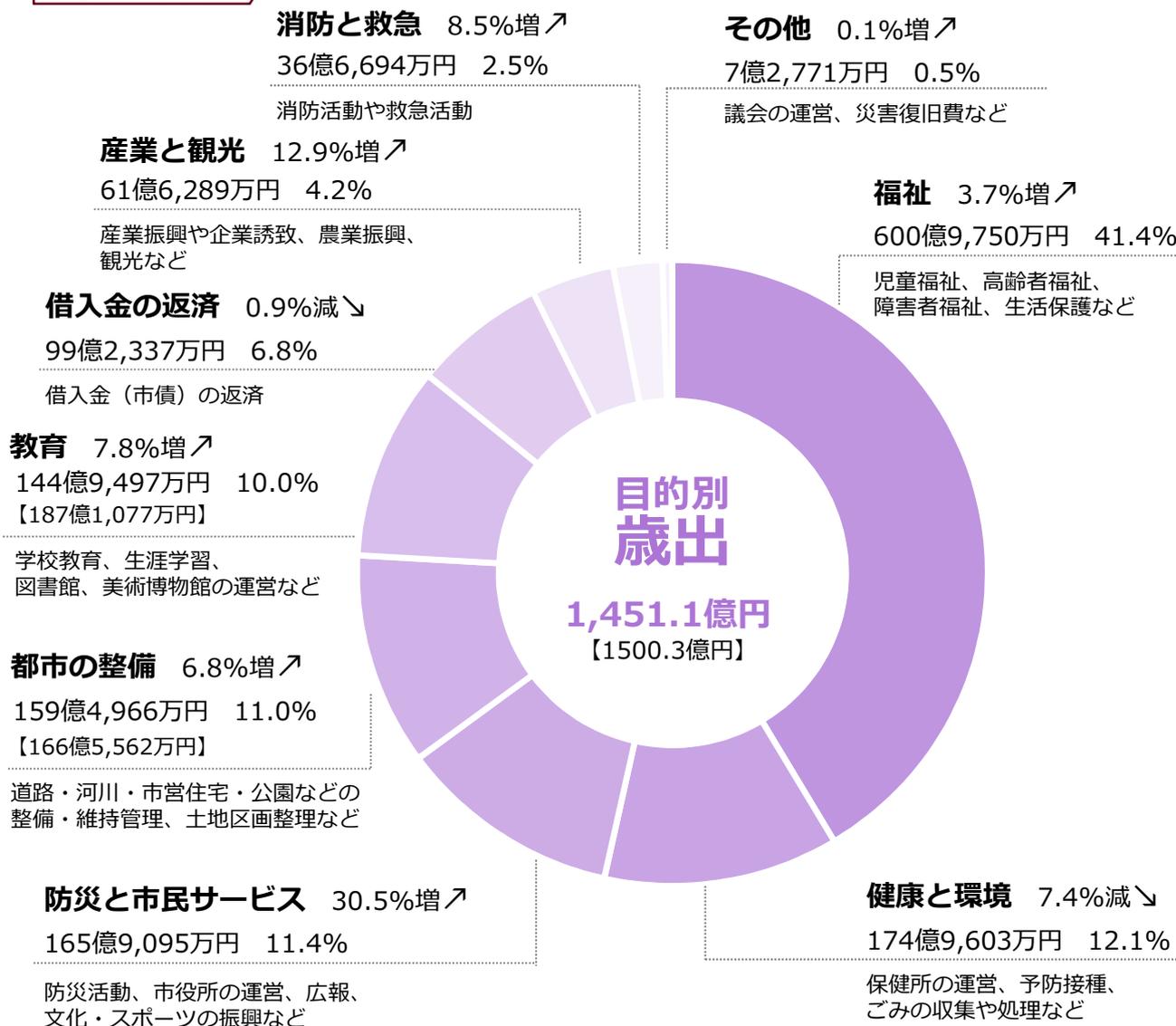
【目的別】

- 防災と市民サービス：定額減税補足給付金給付事業の増のほか、市民文化会館大規模改修工事やアジア競技大会に向けた総合体育館改修工事等による増などにより30.5%増
- 福祉（民生費）：制度改正に基づく児童手当給付事業の増や、障害福祉サービス等給付事業、生活保護扶助事業の増などにより3.7%増

【性質別】

- 義務的経費：定年延長に伴う退職手当の増や、会計年度任用職員への勤勉手当支給に伴う人件費の増、障害福祉サービス給付費の増加に伴う扶助費の増などにより全体で5.4%の増
- 投資的経費：豊橋田原ごみ処理施設整備事業や、明海町・老津町28号線をはじめとする道路整備事業の増などにより全体で24.8%の増

目的別歳出



性質別歳出

その他 18.3%減
26億9,744万円 1.9%

中小企業への融資や、基金への
積み立てなど

補助費等 21.7%増
119億6,170万円 8.2%

東三河広域連合負担金、各種団体
に対する負担金や補助金など

扶助費 4.3%増

404億7,017万円 27.9%

児童手当、生活保護、保育所・幼稚園などの運営、医療費の援助など

繰出金 0.5%増

146億2,497万円 10.1%

一般会計から特別会計、
企業会計へ支出する経費

物件費 6.9%減

218億5,260万円 15.1%
【218億5,360万円】

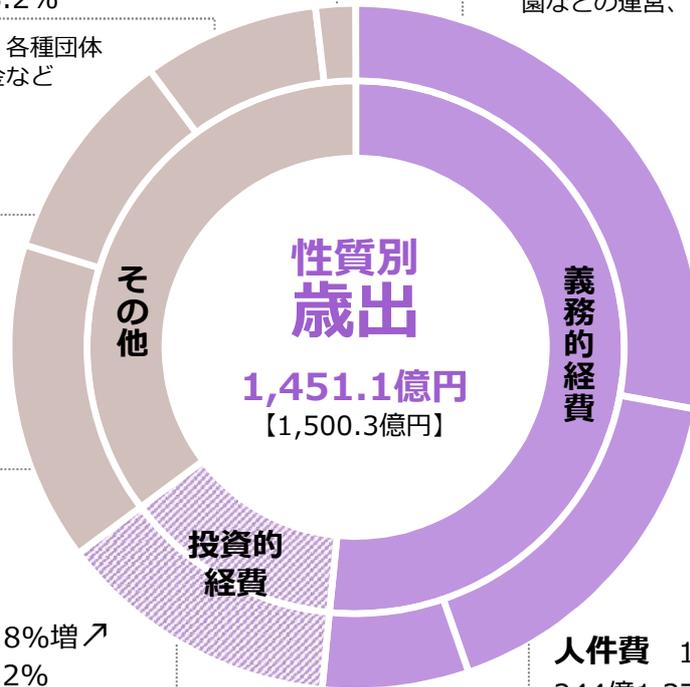
光熱水費や施設の管理費など

**普通建設事業費・
災害復旧費** 24.8%増

191億6,606万円 13.2%
【240億8,682万円】

学校や公園、道路など公共施設の
整備や、災害からの復旧など

**性質別
歳出**
1,451.1億円
【1,500.3億円】



人件費 10.0%増

244億1,370万円 16.8%

職員給与、議員報酬など

公債費 0.9%減

99億2,337万円 6.8%

過去の借入金の返済

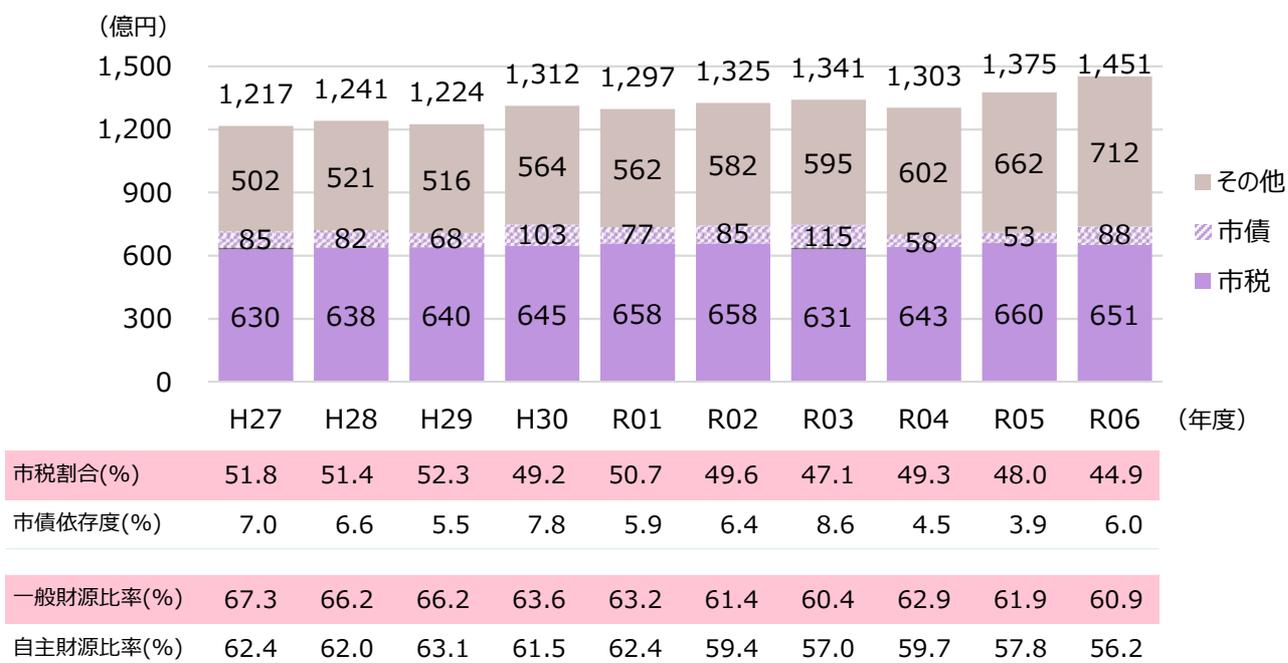
性質別経費の比較

	義務的経費	投資的経費	その他
R06 (対前年度)	748.1億円 (+38.1億円)	191.7億円 (+38.1億円)	511.4億円 (△0.2億円)
R05	709.9億円	153.6億円	511.6億円

義務的経費 … 支出することが法令などによって義務付けられ、任意に節減することができない経費

予算規模の推移

歳入・歳出総額



市税

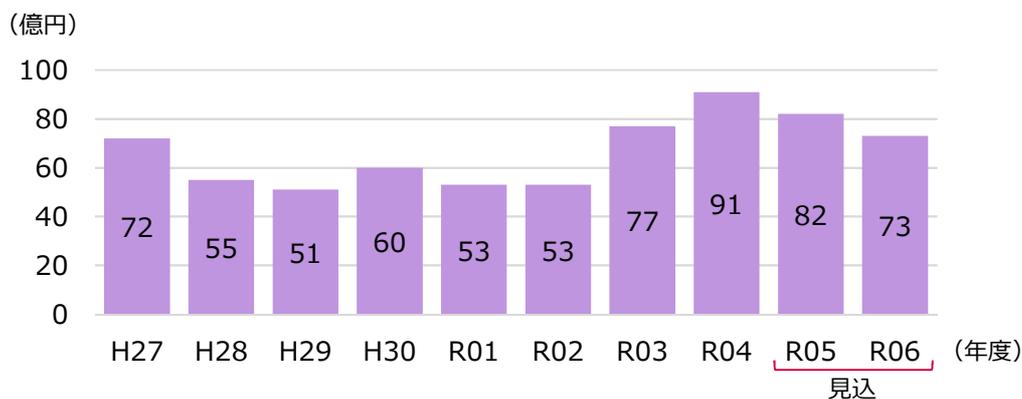
項目	R06年度	R05年度	増減	備考	
市税	651.0億円	660.0億円	△9.0億円		
主な内訳	個人市民税	220.7億円	233.9億円	△13.2億円	定額減税の影響による減 (影響額△17億2,000万円)
	法人市民税	36.5億円	35.1億円	+1.3億円	企業業績の状況に伴う増
	固定資産税	288.3億円	286.2億円	+2.0億円	企業の設備投資による償却資産の増
	市たばこ税	25.1億円	25.1億円	—	

地方交付税

項目	R06年度	R05年度	増減
地方交付税	12.6億円	3.2億円	+9.4億円
うち普通交付税	6.3億円	—	皆増
臨時財政対策債	1.0億円	—	皆増
普通交付税+臨時財政対策債	7.3億円	—	皆増

財政調整基金

年度末残高の推移



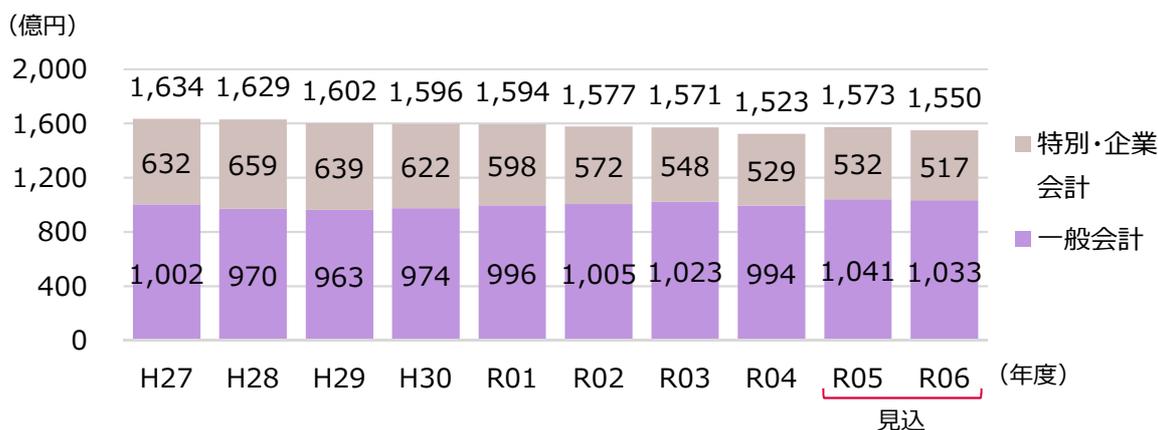
R06年度中の増減見込

積立	約16億円	(R05年度見込：約21億円)	前年度決算剰余金 × 1/2 + 利子
取崩	約25億円 (※)	(R05年度見込：約31億円	【R05年度当初予算：約26億円】)

※R06年度当初予算34.9億円にR06年度中の取り崩し分の留保額約10億円を考慮

地方債

年度末残高の推移



項目	R06年度末(見込)	R05年度末(見込)	増減
一般会計	1,033億円	1,041億円	△8億円
うち建設地方債	843億円	822億円	21億円
うち特別地方債 (※)	190億円	219億円	△29億円
全会計	1,550億円	1,573億円	△23億円

※特別地方債は、減税補てん債、臨時財政対策債の合計を計上しています。

【参考】SDGs (持続可能な開発目標)の推進



SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

17の目標と169のターゲットで構成され、「誰一人として取り残さない世界の実現」を基本理念に掲げています。



- 豊橋市では、さまざまな施策にSDGsの理念を取り入れ、行政課題の解決や地域活性化に役立てています。

新年度におきましても、誰もが安心して暮らせる地域をめざし「持続可能な豊橋」を推進します。なお、「予算の見どころ」掲載の各取組みには、関連するSDGsの目標を記載しています。

重点的に推進する取組み



小中学校の給食費を半額軽減し 子育て世帯を全力応援します

学校給食費の半額を市が負担することを通して、子育て世帯の経済的な負担を軽減し、子育てしやすい環境づくりを推進します。



ポイント

1. 学校給食費の半額軽減 **新規**

市立小中学校及びくすのき特別支援学校（小・中学部）の児童生徒を対象に、学校給食費の半額を市が負担します。

軽減額

小学生：1食当たり 150円（1人当たり年間約28,000円）
中学生：1食当たり 175円（1人当たり年間約32,000円）

2. 学校給食費負担軽減対応補助金 **新規**

学校給食費の半額軽減にあわせて、食物アレルギー等で給食を喫食していない児童生徒の保護者等に対して学校給食費の半額軽減相当額を助成します。

対象

- ①食物アレルギー等により、豊橋市が提供する学校給食ではなく、持参した弁当を喫食する児童生徒の保護者
- ②市内在住の市立以外の小中学校等に通う児童生徒の保護者

補助額

小学生：1人当たり 月額 2,500円
中学生：1人当たり 月額 2,900円

事業費

事業費 2,000万円
軽減額 7億5,200万円

お問い合わせ

保健給食課

(0532) 51-2821

hokenkyushoku@city.toyohashi.lg.jp



市立小中学校はじめ76校の体育館等への 空調設備の整備に着手します

子どもたちが安心して活動できる教育環境を整備するため、市立小中学校はじめ76校の体育館等への空調設備導入に向け、調査等を実施します。



ポイント

1. 事業概要 新規

施設の規模や構造、立地条件のほか、地球環境や防災面にも配慮しながら、最適な整備要件の調査等を行い、空調設備の導入に向けた準備を進めます。

【主な調査内容】 空調設備方式、環境負荷軽減、防災機能 など

2. 対象施設

小学校 (52校)	体育館
中学校 (22校)	体育館及び武道場
豊橋高等学校	体育館
家政高等専修学校	体育館

全98施設

※くすのき特別支援学校は導入済み

3. 事業スケジュール



事業費

(債務負担行為設定額：2,950万円)

お問い合わせ

教育政策課

(0532) 51-2806

kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp



教員を強力にサポート！専門性を発揮し 子どもたちが授業を楽しいと実感できる学校へ

学習プリント、通知文の印刷や配布準備、データ入力など教員の事務負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を確保するため、小中学校のうち大規模校27校へ教員業務支援員を、「ラーケーションの日」事業の導入により増加する業務へ対応するため、市内全校へ校務支援員を配置します。



ポイント

1. 教員をサポートする支援員の配置

(1) 教員業務支援員 **新規**

教員の負担軽減を図り、児童生徒への指導や教材研究等により注力できる環境を整えるため、学級数が多い小中学校27校へ教員業務支援員を配置します。

データ入力などの事務や、実習授業や行事等の準備補助を行うことで教員をサポートします。

(2) 校務支援員 **新規**

令和5年9月の「ラーケーションの日」の導入により、増加する業務へ対応するため、全小中学校、くすのき特別支援学校及び豊橋高等学校へ校務支援員を配置します。

ラーケーション取得状況の確認、給食の食数確認のほか、印刷などの軽微な事務業務を行うことで教員をサポートします。

ラーケーションの日とは・・・

子どもが保護者等とともに、校外（家庭や地域）で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる日。

事業費

1億6,505万円

お問い合わせ

学校教育課

(0532) 51-2825

gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp





おもてなし電・バスで子育て世帯を全力応援！ 公共交通を利用しやすい環境づくりを進めます

「子どもが騒がないか心配」など、公共交通の利用に不安を抱える子育て世帯が気軽に安心して乗車できるよう、4つのおもてなし施策を通じて利用しやすい環境づくりを進めます。

1st

子育て応援ステッカーでおもてなし

全車両で実施

お子さま連れ
大歓迎♪

ステッカー例

2nd

電車・バスお出かけ講座でおもてなし

4つのおもてなし施策

3rd

木製つり輪キーホルダーでおもてなし

4th

「絵本の駅」でおもてなし

ポイント

- 1. 子育て応援ステッカーの貼付 新規**
電車・バスの車体や窓に、子ども連れが安心して乗車できるようなメッセージやイラストをデザインしたステッカーを貼り付けることで、乗客全体が寛容な心で受け入れる意識の醸成を図ります。
- 2. 電車・バスお出かけ講座の実施 新規**
乗り方がわからない方も心配ご無用！座学や実技を通して、子ども連れでのお出掛けに自信をつける講座を実施します。
- 3. 木製つり輪キーホルダー製作イベントの実施 新規**
電車の中で読み聞かせを行う人気イベント「おはなしでん」やカーフリーデー等の開催に合わせて、東三河木材を使ったつり輪キーホルダーを製作するイベントを実施し、公共交通への愛着を深めます。
- 4. 「絵本の駅」の継続実施**
電車・バスの待ち時間や移動中の車内などで自由に絵本を読めるよう、本の貸出・返却ができる場所として設置した「絵本の駅」を令和6年度も引き続き実施します。



事業費

248万円

お問い合わせ

都市交通課
(0532) 51-2621
toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp



■ 保育士確保策の拡充



保育士確保のための取組みを拡大します

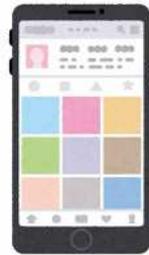
保育士の負担軽減や人材確保のため、保育士の補助を行う職員の雇用支援や、保育士をめざす学生へ向けた情報発信、特別な支援を必要とする児童の保育環境の整備を行います。

1. 保育補助者の雇用支援



- ▶ 保育士の補助を行う職員（保育補助者）を雇用する園への助成をモデル園で実施

2. 保育の魅力発信



- ▶ 市内の中学生・高校生へ SNSを活用して保育士の魅力を発信
- ▶ 保育士養成校の学生向けに、保育所等見学バスツアーを開催

3. 特別支援保育の拡充



- ▶ 発達の遅れなどにより、特別な支援を必要とする児童を受け入れる保育所等への支援を、年度途中の対象児童数の変動にも対応するよう拡充

ポイント

1. 保育補助者を雇用する法人園への助成を行います **新規**

保育士の負担軽減や離職防止、保育の質の向上を図るため、保育士資格を持たない職員を「保育補助者」として雇用する園に対し、雇用に係る費用を助成します。令和6年度は、法人のモデル園を4園募集し、導入効果を検証します。

施設の利用定員	補助額(上限)	処遇改善加算
121人未満	311万7千円/年	左記金額に1% 上乗せした金額 を上限に助成
121人以上	623万4千円/年	

保育補助者に対して処遇改善を実施した場合は、市独自に上乗せして助成

2. SNSを活用して保育士の魅力を発信します **新規**

中高生などの若年層を主なターゲットに、保育士への興味・関心を喚起し、就職したい職業に保育士という選択肢を持ってもらえるよう、SNS（Instagram）を活用し保育士の魅力を伝える動画や写真等の情報を発信していきます。また、県内にある保育士養成校の学生向けに保育現場の見学バスツアーを開催します。

3. 特別支援保育対象児童の年度途中の受入れを支援します **拡充**

特別支援保育の対象児童を受け入れる保育所等に対する、加配保育士配置等への助成について、年度途中の対象児童の増加等への対応についても助成の対象とすることで、保育所等の受入体制を強化し保育士の負担軽減を図ります。

事業費

4億716万円

お問い合わせ

保育課
(0532) 51-2324・2316
hoiku@city.toyohashi.lg.jp



豊橋市保育士・保育所支援窓口
イメージキャラクター
「ロクちゃん家族」

■ 公立保育所整備事業



つつじが丘保育園（仮称）を令和7年4月に開園します

老朽化した公立の新吉保育園をつつじが丘校区に移転、新築する「つつじが丘保育園（仮称）」整備事業において、令和7年4月の開園に向け園舎の建設工事を進めます。



外観



廊下【さんぽミチ】・中庭【みんなのニワ】



保育室

▲イメージ図

YouTubeでウォークスルー動画を視聴できます ▶



ポイント

1. コンセプトは「風土の中のさんぽミチ」

つつじが丘保育園（仮称）は、「とよはし公共建築 学生チャレンジコンペティション」で選ばれたアイデア「風土の中のさんぽミチ」をコンセプトに取り入れて設計しました。木の温もりにあふれ、四季の変化を感じられる、子どもたちの自発性を育む保育環境を整備します。

2. 保育環境・機能が向上します

多様化する保護者のニーズに対応するため、一時預かり・病児保育機能を併設し、保育サービスの充実を図ります。

事業費

4億1,360万円

お問い合わせ

建築課

(0532) 51-2572

kenchiku@city.toyohashi.lg.jp

保育課

(0532) 51-2316

hoiku@city.toyohashi.lg.jp

つつじが丘保育園（仮称）

移転先	佐藤五丁目地内（つつじが丘小学校隣）
構造	木造2階建
対象児童・定員	0～2歳児・定員80名
併設機能	一時預かり・病児保育



企業が育ち、地域が育つまちへ！ 豊橋の未来を担う産業人材の育成を支援します

地域事業者の生産性向上に向け、リスキリングを中心とした新たな学びの仕組みを構築することで学びと交流の好循環を生み出し、社会環境の変化に対応できる主体性のある産業人材の育成を支援します。

学びの機会の提供

講座等の提供や受講の支援により、従業員の学ぶ機会が増える



人材育成に関する 相談窓口の開設

人材育成に関する相談をすることにより、従業員の成長課題が特定できる

「人材育成推進宣言企業」 の認定制度の設立

認定された企業には、講座の受講支援や伴走支援を実施

学びの意識を醸成する 交流の場の創出

学ぶ人同士のネットワークができることで、学びに対してより前向きになる

ポイント

1. 学びの機会の提供 **新規**

生産性向上に資する知識やスキルの習得を促進するため、講座等の提供や資格取得、教育訓練に係る費用について支援します。

(1) 講座等の提供による支援

DX講座や産業用ドローン講習のほか、経営者・人事部門の方を対象とした人材育成に関する講座を実施します。

(2) 資格取得及び教育訓練に係る費用の支援 ※内容により対象が異なります。

- ①経営幹部人材育成に関する講座の受講費用の3/4を助成
- ②生産性向上等に関する講座や外国籍従業員向けビジネス日本語研修の受講費用の一部を助成
- ③ドローン国家資格取得に関する講習費用の一部を助成

2. 人材育成に関する相談窓口の開設 **新規**

企業が抱える人材育成に関する課題解決を図るため、専門知識を有する相談員を配置します。

3. 学びの意識を醸成する交流の場の創出 **新規**

グループワークや優良事例の紹介等、企業間のネットワークを構築する機会を提供し、地域で人材育成に取り組む意識を醸成します。

4. 「人材育成推進宣言企業」の認定制度の設立 **新規**

知識やスキルの習得に取り組みやすい環境の整備や、キャリア形成の支援等、人材育成の推進に積極的な企業を「人材育成推進宣言企業」として認定します。

事業費

5,659万円

お問い合わせ

産業政策課 [1(1),1(2)①, 2, 3, 4]

(0532) 51-2436

sangyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp

商工業振興課 [1(1),1(2)②、③]

(0532) 51-2437

shokogyo@city.toyohashi.lg.jp



農業系スタートアップは豊橋へ！ 農業系スタートアップとの連携を強化し、農業振興に取り組みます

農業系スタートアップと地元農家・農業関連企業との連携により、農業課題の解決と新サービスの創出をめざすプロジェクト、「豊橋アグリミートアップ」の取組みを推進します。実証に最適なフィールド提供により、農業分野で革新的なサービス開発に取り組む企業を呼び込みます。これにより、本市の農業者の課題を解決し、持続可能な農業の実現をめざします。

豊橋市内の農業者



スタートアップの
技術提供

首都圏などの 農業系スタートアップ



豊橋市内の農業者等
との交流促進

課題と実証フィールドの
提供、開発パートナー
としてアドバイス

首都圏などからの誘致



豊橋アグリミートアップの取組みを推進

農業課題の解決による生産性向上

ポイント

1. アグリテック実証支援事業

(1) アグリテックコンテスト

農業者等が抱える課題を解決する新製品等の開発を目的とし、市内外から農業系スタートアップを募集して賞金総額1,000万円のコンテストを実施します。

(2) マッチングプログラム

アグリテックコンテストで受賞したスタートアップと農業者等による実証開発プロジェクトを組成します。

(3) 実証開発支援 **拡充**

組成された実証開発プロジェクトを推進するため、専門家による伴走支援を実施します。

2. 首都圏におけるスタートアップとの連携推進 **新規**

首都圏に拠点を設け、農業系スタートアップとの連携や誘致活動等を推進します。

3. オフィス誘致補助金 **新規**

市内に初めて進出する事業者が、新たなオフィスを設置する際、必要となる建物改修費、貸室賃借料、雇用に係る費用の一部を助成します。

事業費

6,105万円

お問い合わせ

地域イノベーション推進室 [1,2]

(0532) 51-2440

chiiki-innova@city.toyohashi.lg.jp

産業政策課 [3]

(0532) 51-2436

sangyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp



市内企業の成長と人材確保を支えます

市内企業の成長・発展を促進させるために不可欠となる円滑な資金調達、人材の確保に必要な支援を行い、経営基盤の強化を図ります。



ポイント

1. 融資制度の運用資金を預託します

中小企業が市の融資制度を利用して円滑に資金を調達できるよう、市の融資制度を取り扱う金融機関に対し、運用資金を預託します。

2. 創業予定者向けの融資制度を創設します **新規**

創業しやすい環境を整えるため、豊橋市創業支援資金において経営者保証を不要とする新たな制度を創設します。

3. 信用保証料などの資金調達にかかる費用を支援します

市や県の融資制度を利用した中小企業に対し、信用保証料の相当額などを助成します。

4. 中型運転免許等取得費用を補助対象に追加します **拡充**

自動車運送事業者が負担した従業員の免許取得費用について、大型運転免許等に加え、中型運転免許等も補助対象に追加します。

5. 東京圏からの就職活動を支援します **新規**

一定の要件を満たす東京圏内のキャンパスに在学する卒業年度の学部生が、本市に移住し県内企業に就職する場合に、当該就職活動にかかった交通費の一部を助成します。

事業費

15億3,786万円

お問い合わせ

商工業振興課

(0532) 51-2437

shokogyo@city.toyohashi.lg.jp



『豊かな自然とともに次代へつなぐ交流の郷』 の実現に向け、北部地域のまちづくりを進めます

令和5年度に策定する豊橋新城スマートIC（仮称）周辺土地利用構想に基づき、4つの北部地域のまちづくり戦略を柱として、地域の活性化に向けたまちづくりを進めます。

また、さらなる推進を図るために北部地域活性化推進室を設置し、土地利用構想で示す5つのゾーンにおける地域活性化に資する取組みについて、地域住民と意見交換を重ねながら検討を進めます。

まちづくり戦略

暮らしの向上



農業振興

観光振興

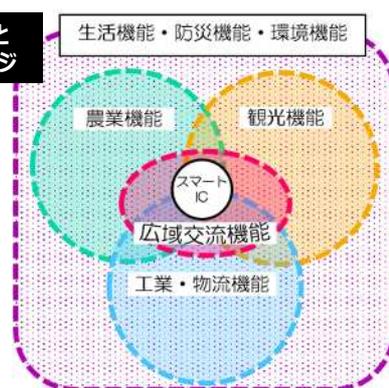


企業誘致

ゾーニング図



導入機能と連携イメージ



ポイント

1. 土地利用の検討

都市的土地利用ゾーンについて、道路、水路といったインフラなどについて検討し、土地利用計画図（案）を作成します。また、地権者や地域住民等の意見を踏まえるとともに、企業ニーズを把握し、北部地域にふさわしい事業手法や規模を比較検討し、まちのイメージづくりを進めます。

2. 北部地域のまちづくり戦略に基づく取組み

地元のまちづくり検討組織との意見交換を継続し、各戦略に基づいた取組みの具体化に向けて検討を進めます。

- 暮らしの向上・・・ 空家の活用など地域コミュニティの維持に向けた取組みを検討します。
- 農業振興・・・ 耕作放棄地の解消など、地域の課題解決に向けた取組みを検討します。
- 観光振興・・・ 広域交流拠点を核とした北部地域の観光の可能性について検討します。
- 企業誘致・・・ 新たな産業用地の確保に向け、地権者の意向確認等を進め、候補地を検討します。

事業費

4,252万円

お問い合わせ

北部地域活性化プロジェクト事務局
道路建設課

(0532)51-2520

hokubupj@city.toyohashi.lg.jp

都市的土地利用とは

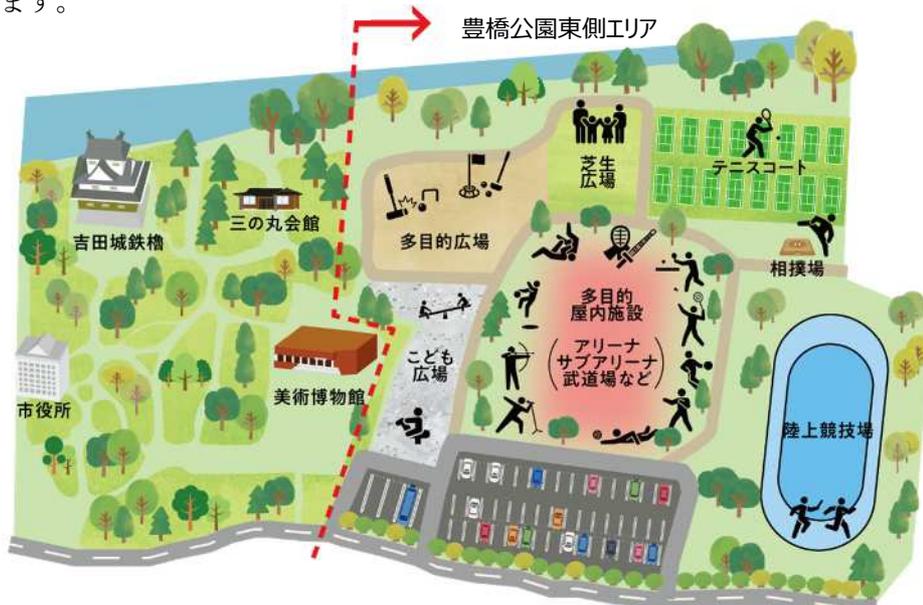
地域における生活や活動を支えるため、人為的に整備、開発された工業用地、事務所・店舗用地、一般道路等による土地利用のこと。

■ 多目的屋内施設等整備事業



エキサイティングな未来へ！豊橋公園リニューアル ～ にぎわいあふれるまちづくりを進めます ～

多目的屋内施設を核とした豊橋公園東側エリアの整備を進め、市民のスポーツ環境の充実を図るとともに、魅力的なプロスポーツやコンサート興行、各種展示会の開催などにより、まちのにぎわい創出につなげます。また、多目的屋内施設が救援物資の受け入れ基地や応援部隊の活動拠点として役割を担うことにより、災害時における防災機能を高めます。



公園整備のイメージ 一例（今後の事業者提案により決定します）

ポイント

1. 多目的屋内施設の整備と防災機能の強化 新規

メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、弓道・アーチェリー場、トレーニングルームなどの整備により、スポーツ環境が格段に向上します。あわせて、災害発生時等に応援部隊や救援物資の受け入れ拠点となる防災活動拠点としての機能を強化します。

2. 豊橋公園東側エリアの再整備 新規

豊橋公園東側エリアに、テニスコートや幅広い世代に親しんでもらえる多目的広場、芝生広場、こども広場の整備を行います。

3. 事業方式

PFI手法を活用し、設計・建設や維持管理・運営を一体的に進めます。また、多目的屋内施設にはコンセッション方式を採用し、市民サービスの質の向上を図ります。

4. 令和6年度事業内容

- ・事業者選定（5月予定）
- ・契約（9月予定）
- その後、設計等に着手

事業費

5,777万円

お問い合わせ

多目的屋内施設整備推進室

(0532) 51-2864

tamokuteki@city.toyohashi.lg.jp



※多目的屋内施設以外の公園施設については、令和10年度末までに完成予定です。
※事業期間は、令和6～39年度を予定しており、約230億円の債務負担行為を設定しています。



豊橋市を舞台にした作品や住みます芸人を活用し まちのブランド化とファンづくりを進めます

豊橋市が舞台の作品を活用し、市内外へ向けて情報を発信することで、まちのブランド化を進めます。また、吉本興業グループと連携し、住みます芸人や著名芸人を活用することで、豊橋のファンづくりを進めます。

まちのブランド化

豊橋のファンづくり



©佐野妙 / 竹書房



©雨森たきび / 小学館 / マケイン応援委員会
イラスト：いみぎむる



左からブロードキャスト!! (吉村さん)、ASANA (クボさん、ナミトさん)



ポイント

1. 「だもんで豊橋が好きって言っとるじゃん!」を活用した市政情報発信 **新規**

豊橋市の魅力を伝えるご当地漫画「だも豊」でお馴染みのキャラクターたちが市政情報を紹介するオリジナル漫画を作成し、市の取組みを広く発信します。また、これまでに発行された作品を活用し、市の魅力を効果的に発信します。

2. 「負けヒロインが多すぎる!」を活用した情報発信 **新規**

2024年にアニメ化される同作は豊橋市が舞台となっており、作中には市内のさまざまなスポットが実名で登場します。アニメ放送により注目が高まるこの機を逃さず、関連イベントの周知など、豊橋市を知り、興味をもってもらえるよう、全国に向けて情報を発信します。

3. 吉本興業グループと連携した取組み

令和4年度から引き続き、まちのイメージアップや職員のスキル向上をめざすため、以下の取組みを行います。

- (1) 住みます芸人の一層の活用
- (2) 市の重点事業への著名芸人の活用による注目度アップ
- (3) B S よしもとへの職員派遣

事業費

1,362万円

お問い合わせ

人事課 [3(3)]
(0532) 51-2039
jinji@city.toyohashi.lg.jp

広報戦略室 [1,2,3(1)(2)]
(0532) 51-2169
kohosenryaku@city.toyohashi.lg.jp





ゲームやアニメなどのコンテンツを活用し 新たな観光需要を創出します

J R東海と連携し、ゲームやアニメなどのコンテンツを活用した市内の装飾や周遊イベント等を実施するとともに、市内事業者と連携し新たな観光需要を創出します。

IP (コンテンツホルダー)

CAPCOM®



「モンスターハンター」や「ストリートファイター」等 ©CAPCOM

ポイント

1. 市内の装飾や周遊イベントを実施 新規

J R東海と連携し、商店街や公共施設などを装飾するほか、市内で周遊イベント等を実施することで、観光客や市内消費の増加をめざします。

2. コンテンツと連携した観光PR 新規

コンテンツのキャラクター等を活用し、豊橋市の観光資源や産業の魅力を発信します。

事業費

2,000万円

お問い合わせ

観光プロモーション課

(0532) 51-2430

kanko@city.toyohashi.lg.jp



令和7年秋の開所をめざし 豊橋市動物愛護センター（仮称）の建設に着手します

命あるものを大切に「人と動物が共生する住みよいまち豊橋」を実現するため、動物愛護の推進拠点となる豊橋市動物愛護センター（仮称）を整備します。



外観イメージ

ポイント

1. 令和6年度事業内容 **新規**
動物愛護センター（仮称）整備工事等

事業費

3億2,770万円

（1）施設の概要

- ・所在地 中野町字中原地内
- ・建 物 【構造】鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 平家建
【延面積】998㎡
- ・屋外施設 芝生広場、駐車場

お問い合わせ

生活衛生課
(0532) 39-9127
seikatsueisei@city.toyohashi.lg.jp

（2）主な諸室の概要

諸 室 名	機能・取り組み
犬収容室 (観察室、譲渡室など4室)	収容予定頭数 20頭
猫収容室(観察室、譲渡室、 授乳子猫保護室など6室)	収容予定頭数 60頭 ※成猫40頭、子猫60頭 (ただし、子猫は3頭を成猫1頭で換算)
地域猫保護室(入院・手術エリア)	地域猫の不妊去勢手術の実施
多目的ホール	動物愛護・ふれあい教室、譲渡会等の実施



■ 総合的な防犯対策の推進



防犯対策を強化！ 犯罪のないまち「とよはし」をめざします

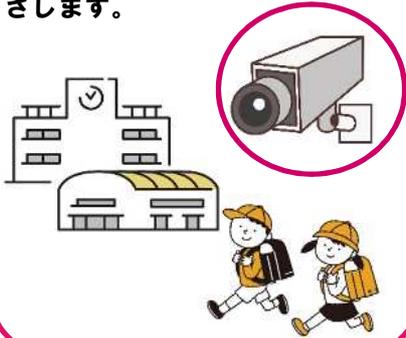


地域防犯力や防犯意識の向上のため、警察及び地域住民や学校などと連携協力し、総合的な防犯対策を実施します。

1

市が新たに設置！ 市内に防犯カメラを 250台設置

犯罪発生抑制のため、市が主体となり、効果の高い場所に防犯カメラを設置します。将来的には、市内に1,000台設置をめざします。



2

いつでも 誰でも ながら防犯 の推進

日常生活の中に防犯の視点を加えることで、犯罪の発生を未然に防ぐ「ながら防犯」活動を推進します。



3

笑いで特殊詐欺撃退！ 落語×防犯教室

落語と防犯教室を組み合わせ、楽しく特殊詐欺対策を学びます。



ポイント

1. 防犯カメラの設置推進 **新規**

市が主体となって、令和6年度からの4年間で防犯カメラ1,000台(250台/年)の設置をめざします。また、自治会等が設置した防犯カメラの維持管理費の一部を助成します。

2. ながら防犯の推進 **拡充**

日常生活で防犯の視点を持って行動する「ながら防犯」を市内に広めるため、防犯対策モデル事業で作成したロゴマークを活用した物品を配布します。

3. 特殊詐欺対策の強化 **拡充**

既存の防犯教室に加えて、主に高齢者を対象として特殊詐欺対策に特化した落語による防犯教室を実施します。

4. その他の防犯対策

防犯教室や防犯キャンペーン、防犯パトロール、防犯診断、防犯灯設置費・維持費や特殊詐欺対策装置購入への助成などの防犯対策を引き続き実施します。

事業費

4,711万円

お問い合わせ

安全生活課

(0532) 51-2303

anzenseikatsu@city.toyohashi.lg.jp



3D都市モデル*1を活用した人流分析により まちなかのにぎわいの創出につなげます

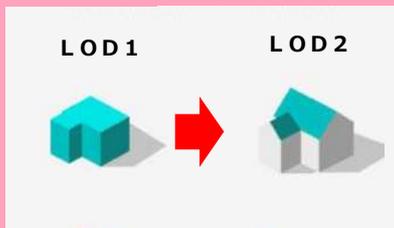
まちづくり分野においてDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するため、3次元化した豊橋のまちのうち、豊橋駅東側地区について、建物の屋根形状などを詳細に再現するとともに、歩行空間の快適性向上に向けて熱環境を解析し、人の滞在データと重ね合わせて人流の分析を行います。

図 豊橋駅東側地区の3D都市モデル



取組み 1

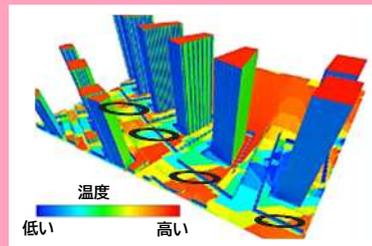
- ・豊橋駅東側地区のLOD2*2整備
- ・オープンデータ化



LOD2整備のイメージ

取組み 2

- ・熱環境の解析
 - ・人の滞在データ
- 重ね合わせによる人流分析



熱環境解析した結果のイメージ

○：人の滞在データ

ポイント

- 3D都市モデルにおけるLOD2整備** 拡充
豊橋駅東側地区をLOD2で整備するとともに、企業や大学等での活用に向けてオープンデータ化します。
- 熱環境解析と人の滞在データの重ね合わせによる人流分析** 新規
豊橋技術科学大学と連携し、LOD2のデータを活用し、建物と日差しの動きなどからまちなかの熱環境の解析を行い可視化します。さらに、解析結果と人の滞在データを重ね合わせて人流を分析し、まちなかのにぎわい創出に向けた取組みにつなげます。

事業費

1,387万円

お問い合わせ

都市計画課
(0532) 51-2622
toshikeikaku@city.toyohashi.lg.jp

*1 3D都市モデル

建物等を3次元化で表現した地図に都市情報を付与し、都市空間を再現したもの

*2 LOD2 (Level of Detail 2)

3D都市モデルで再現する建物の詳細度合いであり、建物の屋根形状などを詳細に再現したもの

豊橋市の公共交通は次のステージへ！ 市境をまたいだバス運行・キャッシュレス化が本格化します



市北部を走る柿の里バス*1のルートが豊川市に延伸するほか、企業、湖西市との連携事業である企業シャトルBaaS*2が本格運行に向けた実証実験に移行します。また、いよいよコミュニティバス、路線バス全線でキャッシュレス決済が可能になり、公共交通の利便性が大幅に向上します。

① 市境をまたいだバス運行



② 公共交通のキャッシュレス化

コミュニティバス全線でクレジットカードなどが使えます！

令和6年4月から

主な決済手段

- ・クレジットカード
- ・交通系電子マネー
- ・QUIC Pay
- ・WAON など

路線バスで交通系ICカードが利用できます！

令和7年3月から

manaco IC CARD

ポイント

1. 市境をまたいだバス運行

(1) 豊川市へ 柿の里バスのルート変更 **新規**

地域の行動圏の実態に合わせたルート変更により、豊川駅やスーパーへの移動が可能になり、利便性が向上します。

(2) 湖西市へ 企業シャトルBaaS実証実験事業 **拡充**

企業シャトルBaaSの本格運行に向け、実証実験を行います。また、地域主体で利用促進を行う運営組織を構築します。

2. 公共交通のキャッシュレス化

(1) コミュニティバス キャッシュレス決済の導入 **新規**

コミュニティバスの支払いにクレジットカードや電子マネーなども利用できるようになります。

(2) 路線バス 交通系ICカード導入支援事業費補助金

交通系ICカード導入に向けた整備に対して支援します。

事業費

3,137万円

お問い合わせ

都市交通課

(0532) 51-2621

toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp

*1柿の里バス…北部地区を運行する「地域生活」バス・タクシー（コミュニティバス）

*2企業シャトルBaaS…企業のシャトルバスに市民も混乗できる移動手段

分野別計画に基づく主な取組み

■ 子育てしやすい環境づくり



経済的負担の軽減や子育て支援サービスを拡充し 子育てしやすい環境づくりを進めます



高校生世代までの医療費の無償化や保育料の無償化などの経済的負担の軽減に加え、1歳未満の子育て世帯向け家事代行サービスや、市役所キッズスペースでの来庁者向け託児サービスの実施などの子育て世帯向けのサービスの充実を図ることにより、子育てしやすい環境づくりを推進します。

経済的負担の軽減

◆ 医療費の無償化

受給者証提示で
「窓口負担なし」



- #### ◆ 保育料等の無償化・軽減
- 年収360万円未満相当世帯第1子
「保育料の無償化」
所得制限のない第2子以降
「保育料の無償化」
「副食費助成・無償化」



サービスの充実

- #### ◆ 市役所キッズスペースでの来庁者向け託児サービス
- #### ◆ 1歳未満の子育て世帯向け家事代行サービス



ポイント

1. 高校生世代までの医療費の無償化

18歳到達年度末までの通院及び入院に係る医療費（保険診療の自己負担額）を全額助成します。

2. 保育料等の無償化・軽減

年収360万円未満相当世帯の第1子及び18歳未満第2子以降の保育料の無償化をはじめ、第2子の副食費助成及び第3子以降の副食費無償化など、市独自の保育料等の負担軽減を実施します。

3. 市役所キッズスペースでの来庁者向け託児サービスの実施 **拡充**

市役所本庁舎東館1階のキッズスペースにおいて、保育士による託児サービスを利用時間を拡充して実施します。

- ・ 託児利用時間の拡充 9時半～15時 → 9時～15時

4. 1歳未満の子育て世帯向け家事代行サービスの実施

1歳未満の子どもを育てる世帯を対象に、民間事業者の家事代行サービスを1回（2～3時間）500円で6回まで利用できるクーポンを配布します。

事業費

事業費 20億3,276万円
軽減額 2億2,359万円

お問い合わせ

子育て支援課[1,3,4]
(0532) 51-2335・2382
kosodate@city.toyohashi.lg.jp

保育課[2]
(0532) 51-2309・2316
hoiku@city.toyohashi.lg.jp



■ 法人保育所・認定こども園整備費補助金



法人保育所・認定こども園のリニューアルを支援します

就学前の子どもが健やかに育つ環境を整えることを目的に、法人保育所や認定こども園が行う施設整備に対して支援します。



施設整備の事例
(園舎や内装等の様子)

ポイント

1. 法人保育所等整備（4園）

良好な教育・保育環境を確保するため、老朽化した園舎の大規模改修等に係る費用の一部を助成します。

園名	定員	整備内容
ひまわり保育園 新規	180人	大規模改修、改築
東観音寺保育園 新規	50人	大規模改修、改築
柱保育園 新規	220人	大規模改修
岩田こども園	270人	改築（2か年目）

事業費

9億6,071万円

お問い合わせ

保育課
(0532) 51-2324
hoiku@city.toyohashi.lg.jp





「学び直し」ができる学校 市高のリニューアルに向けて改良工事を実施します

築53年を経過した豊橋高等学校の校舎長寿命化改良工事に合わせ、相談スペースの充実や新たに多目的スペースを整備するなど、「多様な生徒の学び直しを支援する学校」としての機能を一層充実します。

ともに考え、ともに歩み、ここから



REstart、REstudy



ポイント

1. リニューアル工事の概要 **新規**

建物の耐久性を高める長寿命化改良工事に合わせ、教育環境の充実や地球環境に配慮した施設整備を行います。

総事業費 20億9,090万円

内容 建物の長寿命化、多目的スペースの整備、トイレの洋式化、照明器具のLED化、複層ガラス化 など



2. 「学び直しの場」の充実 **拡充**

多様な生徒への個別指導等を行うスペースなどを拡充し、「学び直しの場」として、きめ細やかな指導・支援をさらに充実させます。

事業費

11億140万円

お問い合わせ

教育政策課
(0532) 51-2806
kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp



科学教育推進のための拠点づくりをスタートします

より多くの人々へ体験を通じた質の高い学びの機会を提供し、人材の育成につなげるため、視聴覚教育センター・地下資源館・自然史博物館・動植物園の機能を整理していくための基本計画を策定し、効果的な科学教育を推進します。



ポイント

1. 科学教育の拠点整備基本計画の策定 新規

自然科学分野を網羅する4つの施設（視聴覚教育センター・地下資源館・自然史博物館・動植物園）の特色を生かした、科学教育の拠点整備に関する基本計画を策定します。

2. 視聴覚教育センター開館50周年記念事業の実施 新規

令和6年10月9日に開館50周年を迎える視聴覚教育センターにおいて、企画展「科学捜査展2」やアーカイブ写真展などを実施します。

事業費

665万円

お問い合わせ

科学教育センター
 (0532) 41-3330
kagakukyoiku@city.toyohashi.lg.jp



豊かな食と農を発展させていくため 豊橋産食材の産地消を推進します

おいしい豊橋産食材*を活用した料理等を、もっと身近に食べることができる環境を整え、産地消を推進することで持続可能な「食と農のまち」をめざします。

豊橋産農産物活用推進補助金

6次産業化商品の開発や豊橋産食材を活用した新商品開発等の費用を助成



※補助金を活用して開発された商品の一例



産地消に寄与する新たな販売手法の費用を助成

飲食店等産地消活動推進事業



飲食店等と農家をマッチングし豊橋産食材を使用した新メニューを開発するとともに恒常的な豊橋産食材の使用につなげる



豊橋産食材を使用したメニューを提供する店舗を巡るスタンプラリーイベントを実施

ポイント

1. 産地消推進に向けた体制を整備

(1) 豊橋産食材を活用した新商品の開発等へ助成

豊橋産食材を活用した新商品の開発や、産地消に寄与する新たな販売方法の費用の一部を助成します。

(2) 飲食店等と農家のマッチングによる産地消の推進 拡充

市内飲食店・菓子店と農家をマッチングし、豊橋産食材を使用した新メニューの開発・提供するイベントを秋冬のみでなく夏の食材にも広げ、恒常的に豊橋産食材を使用する店舗を増やすことで産地消を推進します。

(3) 産地消に取り組む店舗を巡るイベントの実施

豊橋産食材を使用したメニューを提供する飲食店や菓子店を訪れてもらうため、スタンプラリーイベントを実施します。

*豊橋産食材…豊橋産農畜水産物のことを指します。

事業費

1,208万円

お問い合わせ

農業企画課

(0532) 51-2455

nogyokikaku@city.toyohashi.lg.jp

持続可能な農業をめざし、 さらなる農業経営の基盤強化を図ります！



持続可能な農業をめざし、農地の集約から生産基盤の整備などへの支援や気候変動、社会情勢などへのリスク対策を推進します。

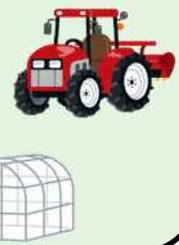
担い手への農地集約

農作業の効率化
コストの削減
遊休農地の解消



設備投資

生産力の向上
産地の収益力強化



リスク対策

社会情勢等の変化
に伴うリスク
への備え



気候変動対策

高温環境や激甚化
する自然災害
への対応



ポイント

1. 地域計画の策定

令和5年度に実施したアンケート調査や農業関係者の協議の結果を参考に、目標地図を含めた地域計画を策定します。

2. 豊橋市あいち型産地パワーアップ事業補助金

産地の収益力を強化するため、栽培施設の整備や高性能な農業機械等の導入費用の一部を助成します。

3. 畜産配合飼料価格安定事業補助金 新規

農業経営の安定のため、配合飼料価格高騰のリスクに備える畜産農家に対し、配合飼料価格安定制度積立金の一部を助成します。

4. 園芸産地事業継続強化対策事業補助金

災害に強い産地を形成するため、事業継続計画の策定や、その実施に必要な既存ハウス補強等の費用の一部を助成します。

5. 高温対策栽培体系転換支援事業補助金 新規

高温環境に適応した栽培体系への転換に向けて、高温耐性品種や高温対策栽培技術を導入するための実証等の費用の一部を助成します。

事業費

1億1,092万円

お問い合わせ

農業企画課[1]

(0532) 51-2470

nogyokikaku@city.toyohashi.lg.jp

農業支援課[2,3,4,5]

(0532) 51-2479

nogyoshien@city.toyohashi.lg.jp

地域計画とは…

農業者等による協議の結果を踏まえ、将来の地域の農業のあり方や農地利用の姿を明確化したもの



誰もが活躍できるまちをめざして！ 日本語教育支援と外国人市民対応を充実・強化します

外国人市民が安心して生活し、自身の能力を開発しながら地域社会で活躍できるよう、日本語教育支援及び外国人市民対応を充実・強化します。

日本語教育支援の充実

初期地域日本語教室の開設

ビジネス日本語教育への支援
(外国籍従業員向けビジネス
日本語研修対象)

外国人市民対応の強化

ベトナム語・インドネシア語
翻訳者の配置

多言語通訳タブレットの増設

職員向け研修の充実



ポイント

1. 日本語教育支援の充実

(1) 初期地域日本語教室の開設 **新規**

日本語が話せない方を対象に、生活に必要な日本語が学べる会話型教室を開設します。

(2) 資格取得及び教育訓練に係る費用の支援(再掲) **新規** [掲載ページ 18]

外国籍従業員が受講するビジネス日本語研修の受講費用の一部が支援の対象となります。

2. 外国人市民対応の強化

(1) ベトナム語・インドネシア語翻訳者の配置 **新規**

翻訳者を配置し、多言語での情報発信を強化します。

(2) 多言語通訳タブレットの増設 **拡充**

窓口での多言語対応を強化するため、多言語通訳タブレットを2台増設します。

(3) 職員向けやさしい日本語研修の充実 **拡充**

職員の外国人市民対応能力向上のため、市職員講師による研修に加え、当該分野で見識の深い外部講師を招き、研修を充実します。

事業費

890万円

お問い合わせ

多文化共生・国際課[1(1),2]

(0532) 51-2007

kyoseikokusai@city.toyohashi.lg.jp

商工業振興課[1(2)]

(0532) 51-2437

shokogyo@city.toyohashi.lg.jp



新たな取組みにチャレンジする中小事業者を支援します

従来からの顧客、商品・サービスにとどまらず、売上向上のために新たな取組みにチャレンジする中小事業者を支援します。また、クラウドファンディングの活用方法など、中小事業者の売上向上につながるセミナーを実施します。

補助金



セミナー

集客力や商品開発力などを高め、売上向上をめざす事業者のため、クラウドファンディング活用などのセミナーを実施します。



ポイント

- 補助メニューに「デジタル化」を追加** **拡充**
デジタルツールの導入などによる売上向上を支援します。
- 補助対象者を追加します** **拡充**
BtoC事業者（一般消費者向け取引の事業者）だけでなく、BtoB事業者（企業間取引の事業者）も対象とし、チャレンジする幅広い業種の中小事業者を支援します。

事業費

741万円

お問い合わせ

商工業振興課
(0532) 51-2425
shokogyo@city.toyohashi.lg.jp

補助事業	補助対象	補助率	補助額（上限）
デジタル化	デジタルツール導入の初期費用	1/2	50万円
業態転換	設備・備品費、改装費	1/2	50万円
ECサイト開設・改善	開設・改善の初期費用	1/2	10万円
クラウドファンディング	初期手数料 プロジェクトページ制作委託費	1/2	10万円

災害時に迅速な対応を行うため 体制を強化します

1. 水難救助体制の強化

令和5年6月2日台風2号に伴う大雨被害を受け、水上オートバイを活用する特殊水難救助隊の出動体制を強化するとともに、資格保持者及び水難救助用の個人装備を充実させます。



2. 災害廃棄物仮置場実地訓練の実施

大雨や地震など大規模災害に伴い発生する大量のごみを一時的に保管する「災害廃棄物仮置場」の円滑な設置・運営のため、関係機関と連携して実地訓練を行います。



3. 災害情報共有システムの機能強化

令和5年6月2日の災害対応を踏まえ、市内の災害情報共有システムの機能強化を行います。

ポイント

1. 水難救助体制の強化 **拡充**

災害多目的搬送車の更新により水上オートバイの2台同時運用を可能とし、出動範囲の拡大、現場到着時間の短縮を図ります。また、水上オートバイの操縦に必要な免許の取得など隊員のスキルアップに努めるとともに、ウエットスーツやドライスーツなどの装備を充実させます。

2. 災害廃棄物仮置場実地訓練の実施 **新規**

「豊橋市災害廃棄物処理計画改訂版」や「豊橋市災害廃棄物仮置場運営マニュアル」に基づく訓練として実施し、課題を検証、改善を図ることで実効性を確保します。

3. 災害情報共有システムの機能強化 **拡充**

市内の災害情報共有システムの機能強化により被害状況の把握や対応状況の共有の迅速化を図ります。

事業費

3,695万円

お問い合わせ

消防救急課[1]

(0532) 51-3101

shobo99@city.toyohashi.lg.jp

廃棄物対策課[2]

(0532) 51-2408

haikibutsu@city.toyohashi.lg.jp

防災危機管理課[3,5]

(0532) 51-3116

bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp

命の安全、心の安心が確保されたまち
みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち
互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち
自然と共生し、地球環境を大切にするまち



4. 災害ボランティアセンター運営の強化

災害ボランティアセンターを運営する災害ボランティアコーディネーターに対して、フォローアップとスキル向上を目的に、災害対応の経験が豊富な専門性の高い講師による「レベルアップ講座」を開催します。



5. 避難所におけるペット同行避難対策の強化

災害時に避難所となる全小学校にペット同行避難の資機材を配置するとともに、計画的にペット同行避難訓練を実施します。



6. 避難所における衛生管理の強化

避難所における衛生対策・感染症対策を強化するための人材を養成します。

ポイント

4. 災害ボランティアセンター運営の強化 **拡充**

ボランティアニーズの能動的な把握や技能ボランティアによる支援の受入れなど、実践的なスキルの習得につながるよう、レベルアップ講座の内容を拡充します。

5. 避難所におけるペット同行避難対策の強化 **新規**

ペットと同行避難した際の手順や適切な飼育スペースの確保などについて、飼い主だけでなく自主防災会や施設管理者が協力して確認・実施する防災訓練を進めるなど、災害時のペット同行避難対策に取り組みます。

6. 避難所における衛生管理の強化 **新規**

避難所における、衛生対策・感染症対策に必要な視点、知識、考え方を身に付けた人材を養成します。

事業費

205万円

お問い合わせ

市民協働推進課[4]

(0532) 51-2481

shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp

保健医療企画課[6]

(0532) 39-9149

hokeniryoku@city.toyohashi.lg.jp



大規模自然災害への備えとして 防災・減災のための対策を推進します

大雨、台風及び土砂災害などの大規模自然災害による被害を未然に防止するため、防災・減災のための対策を実施し、市民を災害から守ります。

土砂災害ハザードマップの作成

●土砂災害とは？

【がけ崩れ】

雨や地震などの影響で地盤がゆるみ、突然斜面が崩れ落ちる現象です。



【土石流】

山や川を構成する土砂が大雨などにより発生する大量の水と一緒に激しく押し流される現象です。



【地すべり】

地下水などの影響により、斜面を構成する土塊が斜面下方にゆっくり大きくすべりだす現象です。



土砂災害（特別）警戒区域とは？

愛知県が土砂災害危険箇所を対象とした「基礎調査」を行い、土砂災害のおそれのある区域を指定したものです。また、特に大きな被害が生じるおそれのある区域は、土砂災害特別警戒区域に指定されます。

河川の緊急浚渫工事

着手前



完了



ため池の浚渫工事

着手前



完了



ポイント

1. 土砂災害ハザードマップの作成 **新規**

大雨等により土砂災害発生の危険が高まった場合の避難行動に役立ててもらうため、愛知県が土砂災害警戒区域等に指定（令和6年3月予定）する65区域のハザードマップを作成します。



2. 河川の緊急浚渫工事の実施 **拡充**

安全な河川環境を維持するため、緊急的な堆積土砂の浚渫や樹木の伐採等を実施します。

3. ため池の浚渫工事の実施 **拡充**

洪水調節機能を高めるとともに、農業用施設としての貯水量を確保するため、ため池に堆積した土砂の浚渫や樹木の伐採等を実施します。

事業費

5億7,976万円

お問い合わせ

河川課

(0532) 51-2535

kasen@city.toyohashi.lg.jp

消防体制の充実



消防通信指令システムを更新します ～令和6年度更新整備 令和7年5月運用開始～

東三河5消防本部で共同運用している通信指令システムを更新し、東三河全域75万市町村民からの119番通報及び災害出動指令の安定稼働を図ります。

ポイント

事業費

1. 映像通報 (Live119) を導入 **新規**

119番通報時に映像通報が可能となり、災害状況が正確に把握できるとともに、通報者に応急手当の手法などの映像を送信することで、適切な手当をサポートします。

(債務負担行為設定額：22億1,324万円)

お問い合わせ

通信指令課 (0532) 51-2075
tsushin@city.toyohashi.lg.jp

2. 活動支援システムを導入 **新規**

被災建物や現場で活動する車両の位置と活動範囲が現場指揮本部で可視化でき、迅速で的確な活動指示を行うことで、被害の軽減につながります。



東三河消防指令センターの様子

[予算概要説明資料 関連ページ] 69

救急救命体制の充実



救急車を1台増車し、日勤救急隊を2隊に増隊します ～さらなる迅速な救急サービスの提供に向けて～

増え続ける救急需要による救急車の現場到着時間の延伸を食い止めるため、新たに日勤救急隊を増隊するとともに、救急需要予測システムを活用し、救急隊運用の最適化をめざします。

ポイント

事業費

1. 日勤救急隊の増隊 **拡充**

本部日勤救急隊の運用効果を踏まえ、救急需要が集中する日中において常時運用する救急隊を1隊増隊(増車)することで、現場到着時間の短縮を図ります。

3,832万円

お問い合わせ

消防救急課 (0532) 51-3101
shobo99@city.toyohashi.lg.jp

2. ICTを活用した取組み

ICTを活用した救急需要予測システムの結果に基づき、増隊する日勤救急隊を機動的に配置し、現場到着時間の検証を行います。

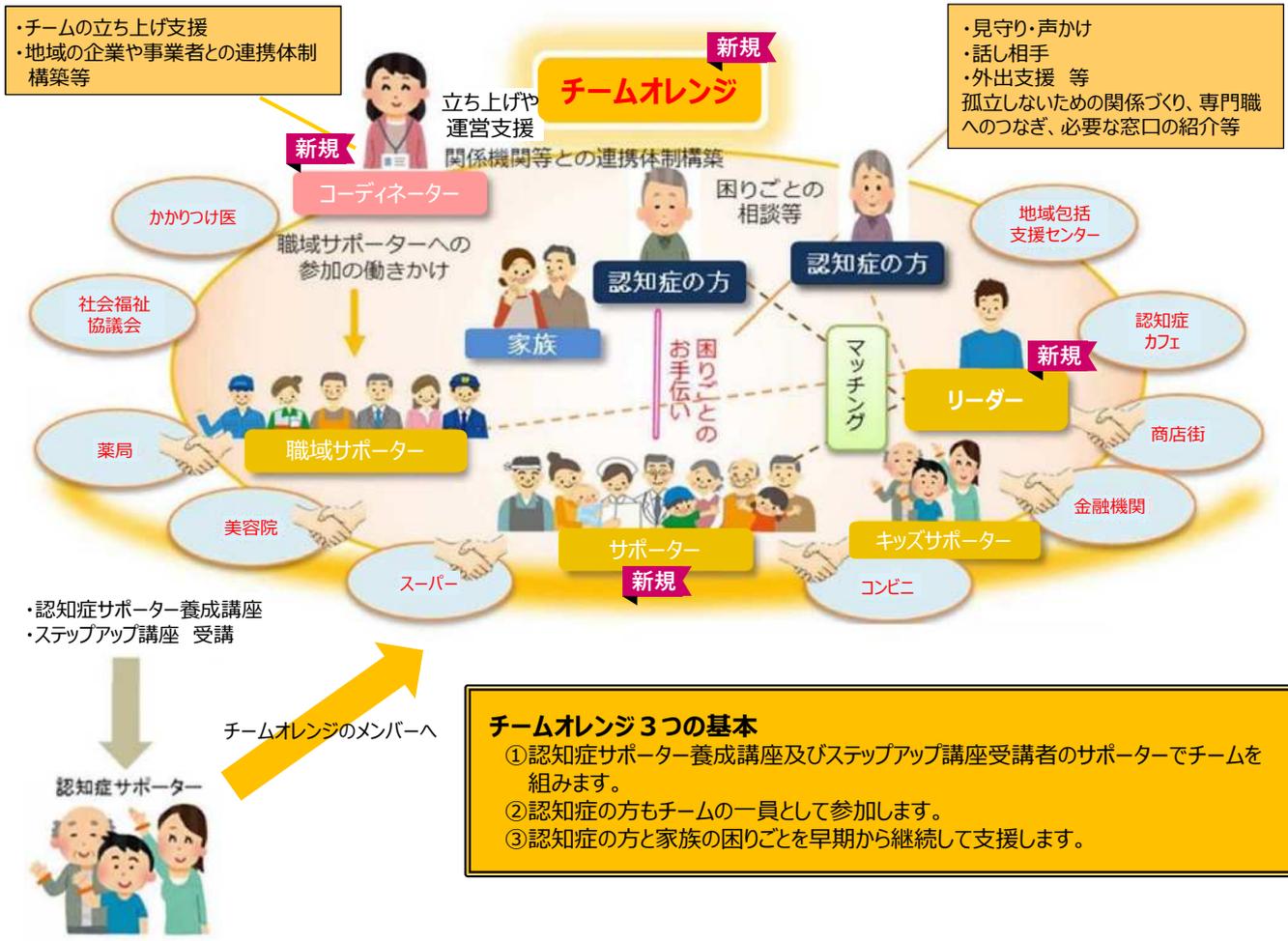


[予算概要説明資料 関連ページ] 69



認知症になっても自分らしく暮らせるまちへ 一人ひとりの希望に寄り添う「チームオレンジ」を整備します

認知症本人や家族の支援ニーズと支援をつなぐ「チームオレンジ」を整備し、認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面を支援する仕組みをつくります。



- ポイント**
- 1. チームオレンジコーディネーターとリーダーの設置 新規**
基幹型地域包括支援センターにコーディネーターとリーダーを設置し、チームの立ち上げや運営を支援します。また、本人・家族が安心して日常生活を送れるよう、地元や三師会、民間事業者等と連携する仕組みを構築します。
 - 2. チームオレンジメンバーの養成 新規**
認知症サポーター養成講座受講者のうち、ステップアップ講座を受講したメンバーを認定し登録します。
 - 3. 認知症初期集中支援チームの拡充 拡充**
認知症患者数の増加を見据え、認知症に関する専門的な知識・技能を有する医療・介護専門職で構成されるチームの体制を強化します。

事業費

3,245万円

お問い合わせ

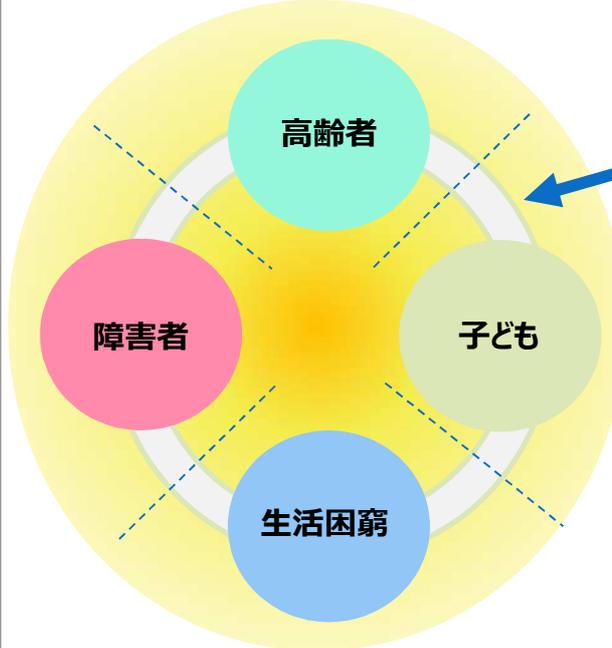
長寿介護課
(0532) 51-2338
choju@city.toyohashi.lg.jp



～重層的支援体制整備事業の実施～

8050問題などの複合的な課題への支援体制を強化します

誰一人取り残さない地域共生社会の実現に向けて、高齢者・障害者・子ども・生活困窮の分野別の相談機関では支援が困難なケース*の支援を担う福祉相談サポートセンターの体制を強化します。



福祉相談サポートセンターの役割

高齢者・障害者などの分野別の相談機関では支援が困難なケースを包括的に支援します。
(制度の壁を飛び越え、制度の狭間を埋める)

～取組例～

- ◆ 関係機関の連携支援や情報共有等のための会議を開催し、分野をまたいだ一体的な支援を実施
- ◆ 自宅訪問や医療機関等への同行などアウトリーチによる伴走型支援を実施
- ◆ ひきこもりなど地域で孤立している方に対し、社会参加に向けた支援を実施
- ◆ 高齢・障害等の相談窓口の専門性に関わらず包括的に相談を受け止め、適切な相談先の案内・情報提供を行う包括的相談支援の体制強化

～誰もがいきいきと暮らせる地域共生社会を目指して～



ポイント

1. 複合的な課題に対する支援体制を強化 拡充

福祉相談サポートセンターの相談支援員を4人体制とし、8050問題などの複合的な課題を抱える世帯等への支援を強化します。

事業費

3,600万円

お問い合わせ

福祉政策課
(0532) 51-2379
fukushiseisaku@city.toyohashi.lg.jp

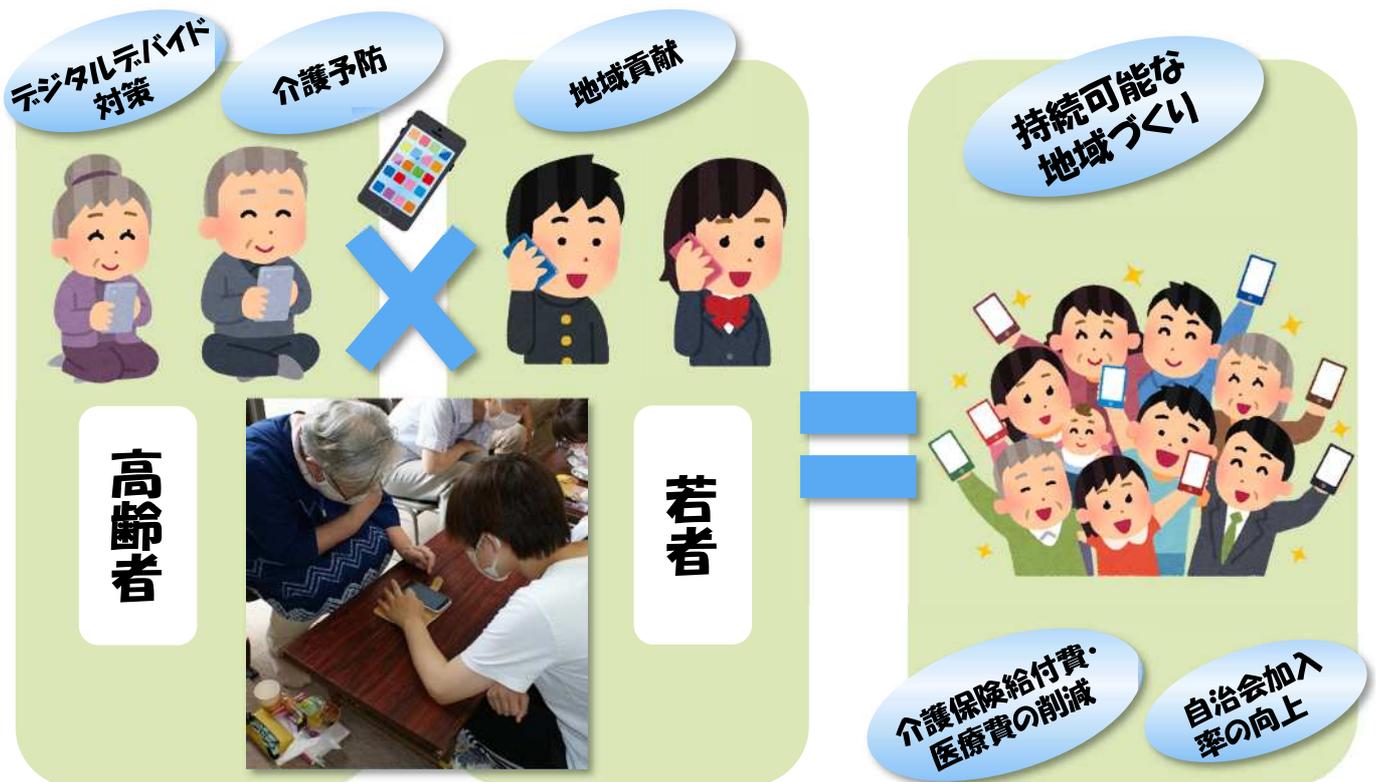
*支援が困難なケースとは・・・

8050問題などの複合的な課題を抱える世帯、生きづらさはあるが既存の福祉サービスの対象となりにくいケース、周りに頼る人がいないなど自ら支援を求めていることが困難なケースなど



わかば議会提案事業 シニア向けスマホ教室「まごのて、お貸します！」

若者が高齢者にスマホの使い方を教えることで、若者と高齢者が交流する機会を創出するとともに、高齢者のデジタルデバイド解消や介護予防につなげます。また、若者の地域参加を後押しすることで、世代を超えた持続可能なまちづくりをめざします。



ポイント

1. 校区市民館等で若者によるシニア向けスマホ教室を実施します **新規**
市内在住の高校生や大学生が講師となり、地域の高齢者にスマホアプリの使い方などを教えるスマホ教室を開催します。参加者同士会話が楽しめるよう、マンツーマン形式とします。
【参加者】
学生5名/回、高齢者5名/回
【実施回数】
全16回（2時間/回×2回で1コース）
※市内4か所×2回×2期（学生の夏・冬休み）
2. 受講者（高齢者）は自治会を通して募集します **新規**
若者と地域のつながりを醸成するため、自治会を通じて受講者を募集します。
3. お茶を飲みながらの交流会も同時に開催します **新規**
スマホ教室に併せ、参加者同士が気軽に交流できる機会も設けます。

事業費

40万円

お問い合わせ

長寿介護課
(0532) 51-2330
choju@city.toyohashi.lg.jp



障害者の就労をより一層推進します

障害者の方がいきいきと働くことができる場所を提供し、業務適性に応じた作業経験を通じてより多くの方を一般就労につなげるため、庁内障害者ワークステーション「わくわく」を拡充します。

庁内障害者ワークステーション「わくわく」新体制

市民病院

【体制】
支援員 1名
スタッフ 3名

本庁

【体制】
統括 1名
支援員 2名
就労支援員 1名
スタッフ 17名

ほいっぷ

【体制】
支援員 1名
スタッフ 3名

新設

上下水道局

【体制】
支援員 1名
就労支援員 1名
スタッフ 3名

清掃・屋外作業部門

【体制】
支援員 1名
スタッフ 6名

※障害者スタッフ
R5 23名 → R6 32名



除草作業



清掃業務



裁断業務



仕分作業

※地方公共団体の障害者雇用率が令和8年度に向け段階的に3.0%まで引き上げられます。本市では、今後も障害者雇用を推進し、雇用率の引き上げにも対応していきます。

ポイント

1. 庁内障害者ワークステーション「わくわく」を上下水道局に新設 **拡充**

本庁、ほいっぷ及び市民病院に設置している庁内障害者ワークステーション「わくわく」を上下水道局に新たに設置します。

9,537万円

わくわく設置場所	設置時期
本庁 ほいっぷ・市民病院 上下水道局	平成26年10月 令和3年4月 令和6年4月

2. 清掃・屋外作業部門の新設 **新規**

障害者の活躍の場を広げ、市所管施設の清掃や草刈りなどの屋外作業を行う体制を強化し、全庁の業務効率化を図るため「清掃・屋外作業部門」を新たに設置します。

事業費

お問い合わせ

人事課
(0532) 51-2043
jinji@city.toyohashi.lg.jp

子宮頸がん予防の促進



ワクチン接種と検診により 子宮頸がんの予防に取り組みます

子宮頸がんは、HPV（ヒトパピローマウイルス）が原因と考えられており、主に性交渉により感染し、近年、若い女性の間で増加傾向にあります。子宮頸がんの予防のため、HPVワクチンの接種による感染予防と子宮頸がん検診の受診の推進に取り組みます。

HPVワクチン接種



● 男性へのHPVワクチン接種助成 **新規**

対象者

小学校6年から高校1年相当の男性

助成額・回数

3回接種 1回 13,000円

接種間隔

1回目から2か月後に2回目

2回目から4か月後に3回目



男女ともにHPVワクチンを接種することでHPV感染予防になります。また、HPVワクチンは肛門がんや尖圭コンジローマの予防にもなります。

子宮頸がん検診



● **令和6年度限定** HPVワクチン接種者に 子宮頸がん検診を無料実施 **新規**

対象者 ワクチンを接種した20歳から27歳の女性

HPVワクチンは非常に有効なワクチンですが、100%予防できるわけではありません。ワクチンとセットでがん検診を受けることが大切です。

● **22歳から48歳の子宮頸がん検診対象者** への受診勧奨を実施 **新規**

子宮頸がん検診受診勧奨はがきを対象者に送付

令和4年4月以降の取組み

● HPVワクチン接種勧奨再開

HPVワクチン予診票を対象者（小学校6年から高校1年相当の女性）に送付

● **令和6年度終了** HPVワクチンキャッチ アップ接種

平成25年から令和3年までの接種勧奨を控えていた間に、接種機会を逃した平成9年度生まれから高校2年相当の女性に無料で接種

これまでの取組み

● 子宮頸がん検診受診券の送付

定期的に子宮頸がん検診を受診している方に対して受診券を送付

子宮頸がん検診を定期的に受けることで、がんになる手前の段階や、がんになっても進行する前の段階で見つけることができます。

ポイント

1. 男性のHPVワクチン接種にかかる費用の一部を助成します **新規**

男女共にワクチンを接種することで集団免疫効果を得るため、男性がHPVワクチンを任意で接種する費用の一部を助成します。

2. HPVワクチン接種者に子宮頸がん検診を無料で行います **新規**

令和6年度に限り、HPVワクチンを1回でも接種した20歳から27歳までの女性を対象に、子宮頸がん検診の受診料を無料とします。

3. 子宮頸がん検診の受診勧奨を行います **新規**

受診率の向上のため、22歳から48歳までの偶数年齢の女性を対象に受診勧奨はがきを送付します。

事業費

620万円

お問い合わせ

保健医療企画課 [1]

(0532) 39-9109

hokeniryuu@city.toyohashi.lg.jp

健康増進課 [2, 3]

(0532) 39-9136

kenkouzoushin@city.toyohashi.lg.jp



若い世代から かかりつけ歯科医を持ちましょう

歯周病は心臓血管疾患などさまざまな病気と関連があり、全身の健康に影響があります。豊橋市では20歳代・30歳代の方の約7割が歯周病にかかっています。

若いうちからかかりつけの歯科医に定期的な受診をするきっかけとなるよう、対象者を拡充し、無料の歯周病検診や未受診者への受診勧奨を実施します。

今まで

歯周病検診

若い世代
20歳・30歳

未受診者勧奨

対象者
40歳・50歳

拡充

R6年度から

歯周病検診

若い世代 + 25歳・35歳
20歳・30歳

未受診者勧奨

対象者 + 20歳・30歳
40歳・50歳

かかりつけ歯科医とは・・・

歯が痛くなったらかかるだけでなく、むし歯や歯周病、オーラルフレイルとならないように定期的に受診する歯科医のことです。歯科検診は、年1回以上受けると効果的です。

ポイント

1. お口の健康は全身の健康につながります

歯周病の早期発見・治療は、心臓血管疾患や糖尿病の病状悪化、低体重児、早産などのリスクを軽減し、生涯にわたる全身の健康にもつながります。

歯周病とは・・・

歯の周りの組織（歯根膜、歯肉、歯槽骨など）の病気をまとめた総称です。年齢を重ねるごとに歯周病にかかる方の割合は上昇します。

2. 25歳・35歳の方も無料の歯周病検診の対象にします **拡充**

かかりつけの歯科医に定期的な受診をするきっかけとなるよう、無料の歯周病検診の対象に新たに25歳・35歳の方を追加します。20、30、40、50、60、70歳は継続して実施します。

3. 20歳・30歳の未受診者にも個別に勧奨を行います **拡充**

受診率の向上のため、これまでの40歳・50歳の方に加え20歳・30歳の未受診者の方にも個別勧奨を行います。

事業費

465万円

お問い合わせ

健康増進課

(0532) 39-9136

kenkouzoushin@city.toyohashi.lg.jp





市民病院南病棟の再整備など診療体制を強化するほか 医療DXへの対応を進めます

救急入院センターを南病棟へ移設するなど病床再編を進めるほか、外来化学療法を推進するため、外来治療センターの拡充を図ります。また、医療DXに対応した病院総合情報システムの更新をします。

病床再編



救急入院センターの移設

救急体制の強化

外来治療センターの拡充



治療ブースの拡張

受入体制の強化

医療DXへの対応



ポイント

1. 病床再編 **新規**

西病棟3階にある救急入院センターを南病棟1階へ移転し、重症患者のほか新興感染症患者など、さまざまな患者に柔軟に対応できるよう再整備を行い、救急体制の強化を図ります。

スケジュール	令和6年度	令和7年度
	救急入院センターの移転等	スーパーICUの設置等

2. 外来治療センターの拡充 **拡充**

地域がん診療連携拠点病院として外来化学療法を推進するため、治療ブースを拡張し、受入体制の強化を図ります。

スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年 4月稼働 (予定)
	設計	改修工事	

※外来治療センター…がん患者などの外来化学療法を行う場所

3. 医療DXへの対応 **新規**

かかりつけ医等と患者情報を共有する全国医療情報プラットフォームに対応した病院総合情報システムを構築します。
また、電子処方箋の導入などマイナ保険証の活用を進めます。

事業費

17億8,000万円

お問い合わせ

市民病院管理課 [1,2]
(0532) 33-6111
hosp-kanri@city.toyohashi.lg.jp

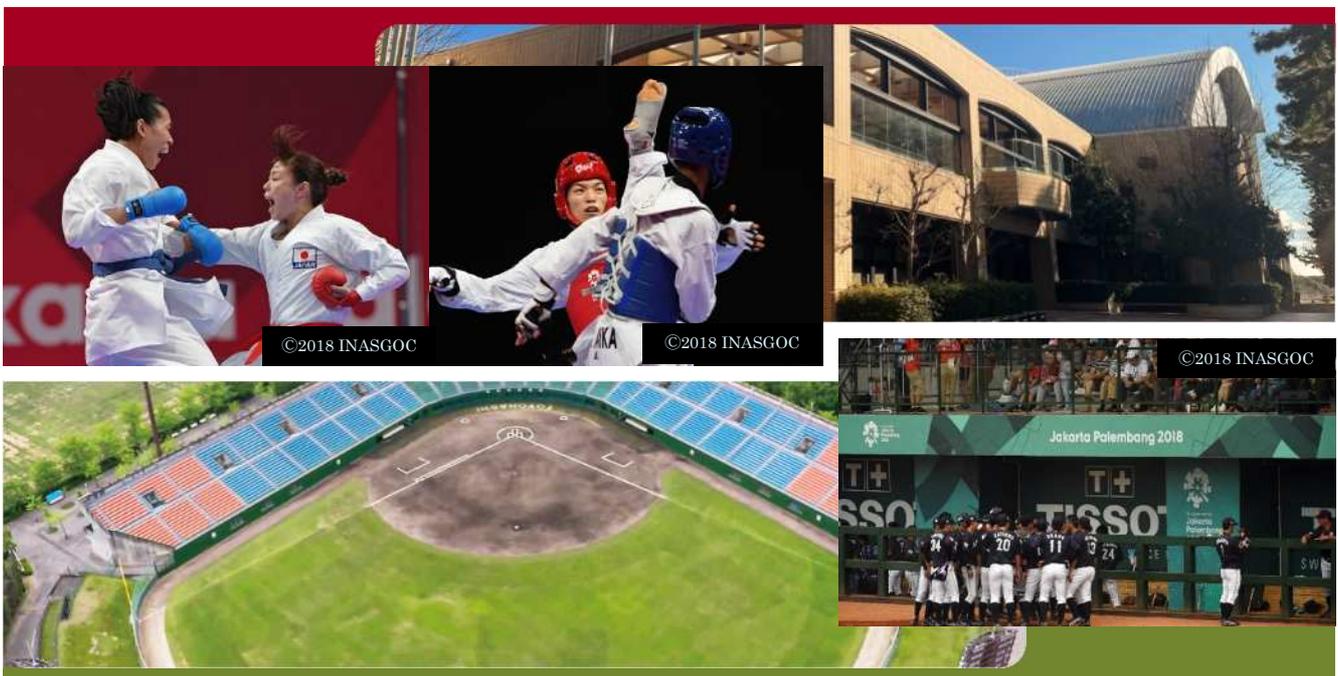
市民病院医療情報課 [3]
(0532) 33-6111
hosp-joho@city.toyohashi.lg.jp

■ スポーツ施設の整備

アジア・アジアパラ競技大会開催に向けて スポーツ施設を改修します

令和8年度に愛知県で開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会において、本市では豊橋市民球場で野球、豊橋市総合体育館で空手、テコンドー及びゴールボールの実施が予定されています。

会場となるこの2施設でトイレの洋式化やバリアフリー化等の大会開催に必要な機能整備を進めるほか、総合体育館では劣化の著しい箇所の改修を行い、スポーツ環境の向上を図ります。



ポイント

1. 市民球場スコアボード改修工事 **新規**

老朽化したスコアボードを磁気反転式からLED方式に更新し、視認性を高め、多様な情報の表示を可能とすることで、観戦環境の向上を図ります。

2. 市民球場改修工事実施設計 **新規**

トイレの洋式化や観客席のバリアフリー化のための実施設計を行います。

3. 総合体育館改修工事 **新規**

令和6年度から7年度にかけて、アジア競技大会の開催に必要なバリアフリー化等の機能整備及び老朽化に伴う劣化改修を行います。
(令和6～7年度 2か年継続事業 総事業費：11億3,000万円)

機能整備 … トイレの洋式化、施設のバリアフリー化、通信環境整備
劣化改修 … 屋根、更衣室、空調、非常用設備等の改修

事業費

8億4,450万円

お問い合わせ

「スポーツのまち」づくり課
(0532) 51-2866
sports@city.toyohashi.lg.jp



個性あふれる芸術文化を発信します

優れた舞台芸術作品の発信を通じて、市民がより質の高い芸術文化に触れることのできる機会を提供します。

舞台手話通訳付き上演
市民と創造する演劇「赤鬼」



樋口ミユ

障害のある方向けの鑑賞サポート付き上演
「La Mère 母」



若村麻由美 岡本圭人

立川志の輔独演会



立川志の輔

大道芸inとよはし2024



「オーランド」



宮沢りえ

ポイント

- 1. 市民や高校生が出演する市民参加の創造型演劇公演**
 - 市民と創造する演劇「赤鬼」（舞台手話通訳付き上演）
野田秀樹 作 樋口ミユ 演出
 - 高校生と創る演劇「新作公演」
下司尚実 作・演出
- 2. 多様な人の鑑賞機会を広げる公演**

障害等の有無にかかわらず、誰もが芸術文化を鑑賞することができる機会を提供します。

 - 障害のある方向けの鑑賞サポート付き上演「La Mère 母」
フロリアン・ゼレール 作 齋藤敦子 翻訳
ラディスラス・ショラー 演出
若村麻由美、岡本圭人、伊勢佳世、岡本健一 出演
- 3. その他注目の公演**

幅広い年齢層の市民に優れた作品の鑑賞機会を提供するため、さまざまなジャンルの公演事業等を行います。

 - 立川志の輔独演会
毎年好評の立川志の輔の独演会を開催します。
 - 大道芸inとよはし2024
大道芸でゴールデンウィークのまちのにぎわいを創出します。
 - 「オーランド」
栗山民也演出、宮沢りえ出演による演劇公演を上演します。
 - 松竹大歌舞伎
歌舞伎公演を上演します。

事業費

1億7,299万円

お問い合わせ

「文化のまち」づくり課
(0532) 51-2875
bunka@city.toyohashi.lg.jp



より使いやすく、より快適な施設へ 市民文化会館の改修工事に着手します

開館から56年が経過した市民文化会館の改修工事に着手します。より使いやすく、より快適な施設となるよう2か年かけて改修します。なお、工事は大きく時期を2つに分けて、施設を部分休館しながら実施します。



施設改修のスケジュール（予定）

年度	令和6年度	令和7年度
工期	I期工事 令和7年7月まで (改修箇所の部分休館：令和6年5月～令和7年7月)	II期工事 令和8年1月まで (改修箇所の部分休館：令和7年4月～令和8年1月)
工事エリア	リハーサル室側	管理事務室側
主な改修箇所	第3～7会議室、学習室等	管理事務室、第1・2会議室、展示室等

※ホールはI期・II期通して改修(令和6年4月～令和8年1月休館)

ポイント

1. 改修内容 **新規**

大きく3つの視点で改修します。
(令和6～7年度 2か年継続事業 総事業費：15億円)

6億円

視点	主な改修内容
新しいニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 一部会議室の防音改修 授乳室や多目的トイレの新設 など
機能向上	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の整備（駐車区画の増設） ホールの改修（座席更新、車椅子対応のスロープの設置等） トイレの改修（洋式化等） 交流スペースの新設 照明のLED化 など
機能回復	<ul style="list-style-type: none"> ホール舞台装置等の更新 電気設備、給水設備、空調設備等の更新 屋上防水 施設内の床や壁の補修 など

事業費

お問い合わせ

「文化のまち」づくり課
(0532) 51-2875
bunka@city.toyohashi.lg.jp



美術と歴史で魅せます

「生誕100年 中村正義展」の開催と二川宿本陣資料館リニューアルオープン

リニューアル後の美術博物館で豊橋出身の日本画家・中村正義の生誕100年を記念する大規模な回顧展を開催するほか、令和6年11月3日の二川宿本陣資料館リニューアルオープンに向けて、展示・鑑賞環境等を整備します。また、両館にカプセルトイを設置し、オリジナル缶バッジを販売します。

美術博物館



■ 缶バッジデザインとカプセルトイ（イメージ）

二川宿本陣資料館



■ 資料館外観



■ 展示機器「二川宿の1日」

ポイント

- 1. 「生誕100年 中村正義展」** 新規
 - ・中村正義の代表作が一堂に集結します。
 - ・中村岳陵、高山辰雄、横山操、片岡球子など、正義と関わりのあった著名な日本画家の代表作もあわせて展示します。
 - ・正義作品を教材とした出前授業「顔」で作製した市内小学生の作品も紹介します。
- 2. 二川宿本陣資料館リニューアルオープン** 新規
 - ・空調設備、照明、展示ケース、トイレなど内装を改修します。
 - ・常設展示機器「二川宿の1日」のモニターや再生機器を更新します。
 - ・資料の保存環境改善のため、収蔵庫に可動棚を設置します。
 - ・リニューアルオープンにあたり企画展を開催します。
- 3. カプセルトイの設置** 新規
 - ・子育て世代や若者が気軽に訪れるきっかけづくり等を目的としてカプセルトイを設置し、収蔵作品などをデザインしたオリジナル缶バッジを両館で販売します。

事業費

1億9,884万円

お問い合わせ

美術博物館
(0532) 51-2882
bijutsu@city.toyohashi.lg.jp





地域資源を活用し市民の余暇の充実と 観光誘客の促進を図ります

弓張山地や遠州灘、三河湾などの自然環境をはじめとした地域資源をフィールドに、市民や観光客の余暇の充実や健康増進を図るため、サイクリングやガイドツアーなどの体験型観光に取り組む事業者の支援を行うほか、道の駅「とよはし」での地域資源や体験型観光の情報発信や、サイクリングイベントを開催します。



ポイント

- 体験型観光商品の造成・磨き上げを支援します** 拡充
豊橋の魅力を感じることができる体験型観光に取り組む事業者の発掘・伴走支援を実施し、体験型観光を推進します。
- 道の駅「とよはし」で体験型観光の情報を発信します**
チラシやSNSなどを活用し、道の駅「とよはし」で体験型観光の情報発信を進めます。
- 自転車に親しみ、楽しむ環境を創出します**
デジタルサイクリングマップ※を活用したサイクリングイベントを開催し、日常的にサイクリングを楽しんでもらうきっかけを作ります。

※**デジタルサイクリングマップ**

サイクリングをもっと快適に楽しんでもらうために、Googleマップを使用してスマホで周遊コースや立寄りスポットを確認できます。



事業費

1,060万円

お問い合わせ

観光プロモーション課[1,2]
(0532) 51-2430
kanko@city.toyohashi.lg.jp

都市交通課[3]
(0532) 51-2621
toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp



まちなかで新たな再開発事業が動きはじめます

豊橋駅東口の豊橋広小路一丁目北地区では、地区内の権利者で組織された再開発準備組合により、令和6年度末の事業認可に向けて、再開発事業の検討が進められています。魅力あるまちなかの整備のため、本市としてもこの取組みを支援して行きます。

■ 広小路通り側イメージパース



■ ときわ通り側イメージパース



■ さくら通り側イメージパース



■ 位置図



※パースは現時点での想定であり、今後変更となる場合があります。

ポイント

1. 豊橋広小路一丁目北地区第一種市街地再開発事業 新規

中心市街地における老朽街区の解消や商業機能の再生、都心居住を促すため、商業施設や都市型住宅、空地等を備えた再開発事業を支援します。

【事業概要（予定）】

- 事業期間：令和6～11年度
- 施 行 者：豊橋広小路一丁目北地区市街地再開発組合
- 整備内容：地上23階・地下1階
主な用途 店舗、事務所、住宅、駐車場 等

【令和6年度事業内容】

事業計画作成（施設建設物基本設計、従前土地・建物評価など）

事業費

1億9,160万円

お問い合わせ

まちなか活性課

(0532) 55-8102

machinaka@city.toyohashi.lg.jp

■ 居心地が良く歩きたくなる空間形成事業



駅前大通りなどで 居心地が良く歩きたくなる空間づくりを進めます

駅前大通りでは、令和5年度に実施した歩道の利活用や景観向上の実証実験を踏まえ、引き続き沿道の店舗や企業、住民と一体となり、さらに愛知県とも連携し、持続可能な滞留空間の創出や維持管理体制の構築に向け、隣接する広場とあわせ居心地が良く歩きたくなる空間づくりを進めます。



■ 駅前大通りでの実験の様子（令和5年度）



■ 駅前大通りでの実験の様子（令和5年度）



■ 地元の方による植栽維持管理のイメージ



■ 広場での過ごしたくなる空間創出の実験の様子（令和5年度）

ポイント

1. 駅前大通りの実証実験

駅前大通りの歩道空間を誰もが滞留しやすく、歩いて楽しい通りとするため、「豊橋まちなか未来会議」などと連携し、滞留空間や緑の空間の創出、植栽の維持管理体制の構築などを目的とした取組みを実施します。

2. 日常的に過ごしたくなる空間づくり

駅前大通りに隣接するまちなか広場を、日常的に人が集い過ごしたくなるよう、暑さ対策などにより、くつろげる空間づくりに取り組みます。

事業費

610万円

お問い合わせ

まちなか活性課

(0532) 55-8101

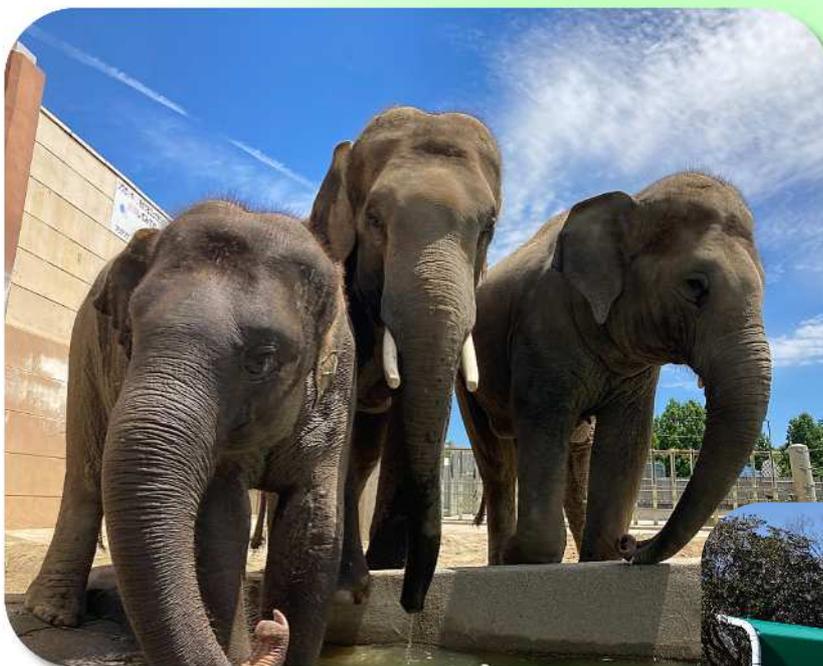
machinaka@city.toyohashi.lg.jp



動物も来園者も快適に過ごすことができる 魅力あふれる「のんほいパーク」を創ります

動物の飼育環境と来園者の利便性向上を図ることで、生きものをより身近に感じ、好奇心と探求心あふれる「のんほいパーク」を創ります。

ゾウの群れ飼育・繁殖の推進



Wi-Fi

情報発信機能の強化

渋滞対策・来園者サービスの向上



ポイント

1. 新ゾウ舎の整備に着手します **新規**

ゾウの群れ飼育と繁殖の推進のため、獣舎の増築と放飼場の拡張整備に着手します。獣舎内でゾウの様子を見学できるようにするなど、ゾウの魅力をもっと体感できる施設をめざします。

2. 常設駐車場を拡張整備します **新規**

駐車場不足と周辺地域の渋滞緩和のため、西門周辺に常設駐車場を整備します。駐車スペースが増加することで、より快適に来園できるようになります。

3. 無料Wi-Fiを充実します **拡充**

学校の校外学習や園の動物教育プログラム充実、来園者の利便性向上のため、園内の無料Wi-Fiエリアを拡大し、情報発信機能の充実を図ります。

事業費

3億4,480万円

お問い合わせ

動植物園

(0532) 41-2186

doshokubutsu@city.toyohashi.lg.jp

■ 岩屋緑地西側広場再整備事業



岩屋緑地に新たな魅力誕生！

～春の桜、夏の新緑、秋には紅葉スポット～

リニューアル



グリーンスポーツセンター跡地を活用して、自然を生かした大人も子どもも自由に過ごせる場の創出に向け、令和6年度より段階的に再整備を行います。令和6年度は駐車場等を整備します。

岩屋緑地の自然を生かした公園整備

～大人も子どもものびのびと自由に過ごせる場所～



芝生エリア



紅葉エリア



岩屋緑地
 西側広場
 岩屋緑地西側広場位置図



ポイント

1. 季節を感じられる公園整備 新規

岩屋緑地は、春は桜、夏は新緑に包まれ、四季を感じ風景を楽しむに多くの方が訪れています。新たにモミジによる紅葉スポットを創出することで、さらなる魅力向上を図ります。

2. 市民協働による公園整備 新規

遊具や樹木の種類などについて、市民ワークショップの意見を反映するとともに、植樹や既存ベンチ等の塗装を市民と行政が協力して行います。

3. 既存ストックの活用

既存の芝生広場や樹木、植栽などを生かした整備を行います。

事業費

1,800万円

お問い合わせ

公園緑地課

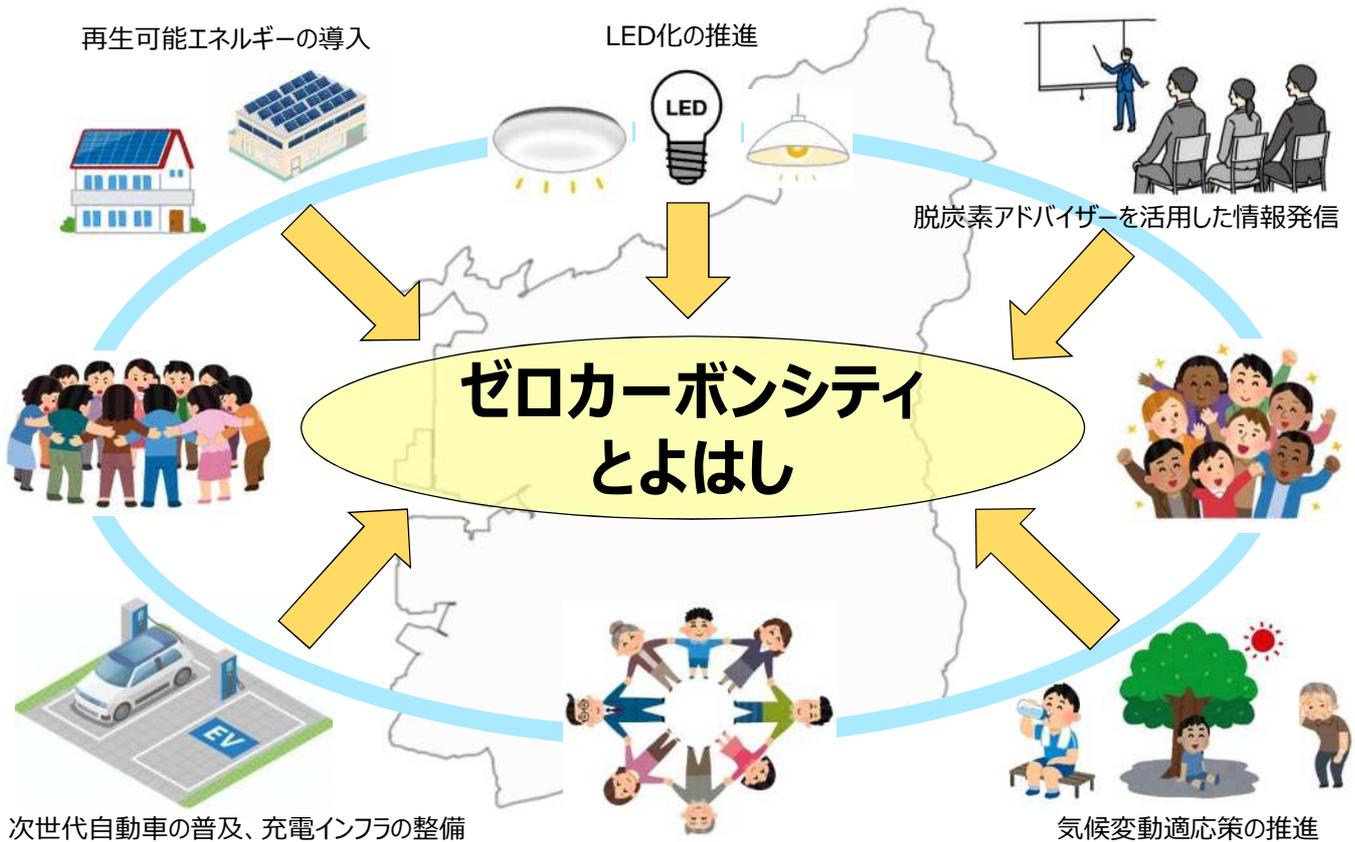
(0532) 51-2650

koenryokuchi@city.toyohashi.lg.jp



市民・事業者と一丸となって脱炭素に取り組みます ～未来を担う次世代へ、安全・安心な環境をつないでいこう～

2050年の「ゼロカーボンシティとよはし」をめざすため、公共施設のゼロカーボンに資する設備導入をはじめ、市民・事業者が脱炭素について前向き、かつ自分ごととして行動するための情報発信や支援策を充実させ、市域全体で一丸となって取り組みます。



ポイント

1. LED化の推進

省エネ及び照明器具の長寿命化を図るため、家庭や公共施設の既存照明のLEDへの切替えを推進します。

- ①公共施設（地区体育館等のスポーツ施設）のLED化 **新規**
- ②家庭におけるLED照明普及啓発キャンペーンの実施 **新規**

2. 公共施設の充電インフラの整備 **新規**

利便性が高く持続可能な充電インフラ社会を構築するため、民間事業者と連携し、急速充電器を設置・更新します。

3. 次世代自動車購入等補助金の拡充

走行時の温室効果ガスの排出削減に寄与する電気自動車のさらなる普及を図るため、助成する台数を拡大するとともに、新たに事業者を対象とした充電インフラの整備についても支援を行います。

- ①電気自動車（普通自動車）の助成台数の拡大 **拡充**
- ②急速充電器及び普通充電器の設置費用の助成 **新規**

デコ活の推進

※デコ活は、CO₂を減らす（DE）脱炭素（Decarbonization）と環境に良いエコ（Eco）を含む「デコ」と、「活動・生活」を組み合わせた造語



かん田きょう子さん

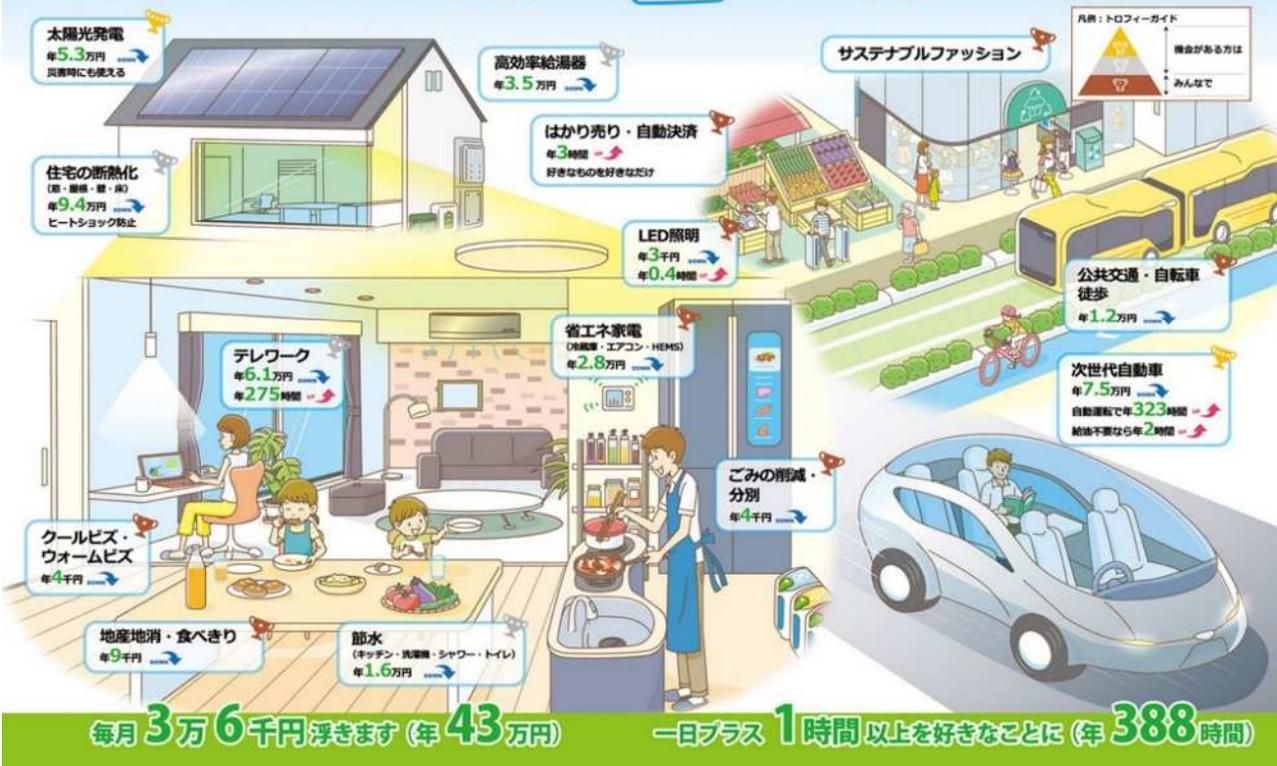
一人ひとりの行動が
ゼロカーボンにつながるに！



新しい国民運動「デコ活」を実践して、10年後の生活や環境を豊かなものに

<デコ活の全体像>

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後



出典：デコ活（環境省ホームページ）

ポイント

4. 脱炭素アドバイザーの養成・活用 **新規**
脱炭素のさらなる推進のため、職員が資格を取得し、市民・事業者向けに行動変容を促す取組みを進めます。
5. 公共施設へのPPA事業による太陽光発電設備等の導入 **拡充**
PPA（電力販売契約）事業の手法により、再生可能エネルギー設備が未設置の公共施設へ太陽光発電設備等の導入を実施します。
6. 家庭用エネルギー設備等導入費補助金の拡充 **拡充**
家庭で消費するエネルギーを実質的にゼロ以下にする「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）」の助成件数を拡大します。
7. デコ活を活用した脱炭素と気候変動適応策の推進 **新規**
市民・事業者の主体的な脱炭素への取組みや、熱中症対策などの気候変動に関する理解を促進するため、国が推進する「デコ活」を活用した普及啓発を実施します。

事業費

7,698万円

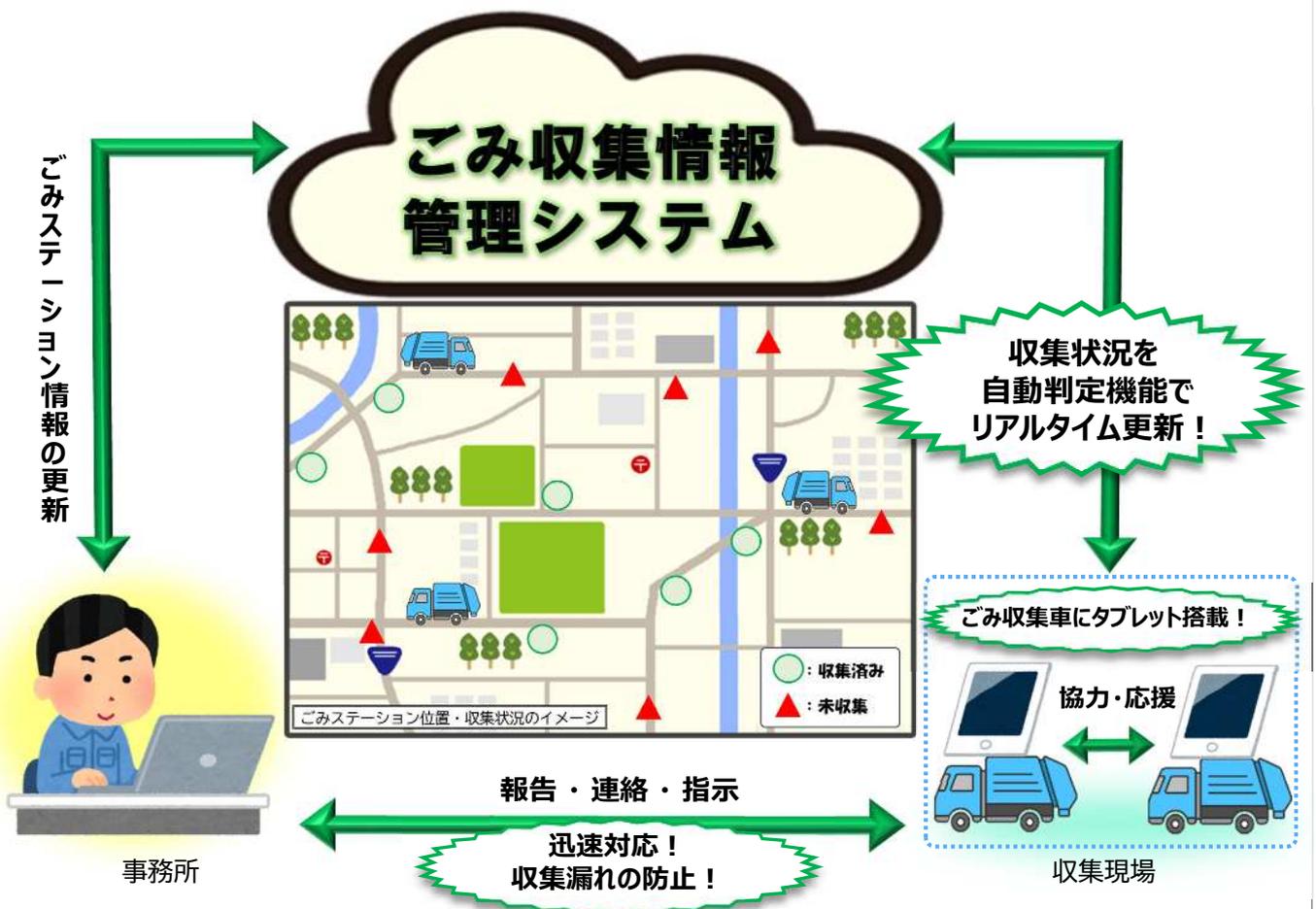
お問い合わせ

ゼロカーボンシティ推進課
(0532) 51-2418
zero2@city.toyohashi.lg.jp



デジタル技術の活用により ごみ収集作業を効率化します

ごみ収集の現場にデジタル技術を導入し、収集状況をリアルタイムに情報共有することで作業の効率化を図り、迅速で確実なごみ収集の実施やごみステーション周辺の衛生環境の保持を推進します。



ポイント

- 1. ごみ収集車への段階的なタブレット搭載 新規**
 収集中の各車の状況を速やかに情報共有できる体制を整えることで、収集現場での迅速な対応を図ります。
- 2. ごみ収集状況自動判定機能の導入 新規**
 ごみステーションごとの収集状況を自動判定する機能により、リアルタイムで収集作業の進捗管理を行うことで、収集漏れの防止につながります。

事業費

422万円

お問い合わせ

収集業務課
 (0532) 61-4136
 shushugyomu@city.toyohashi.lg.jp

迅速で確実な
ごみ収集を
めざすに!



かん田きょう子さん



豊橋市と田原市の新たなごみ処理施設を建設しています

ごみ処理の広域化、廃棄物の適正で安全・安定的な処理の推進及び持続可能な資源循環型社会の構築を図るため、環境にやさしく、エネルギーと資源を積極的に有効活用し、災害ごみにも高い対応性がある『豊橋田原ごみ処理施設』を建設しています。



工事完成後状況(令和13年8月)



年度	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	令和13 2031
準備工事 (現施設の一部機能移転)	▶									
ごみ焼却施設建設工事		▶								
管理棟建設工事						▶				
解体工事 (既設東工場棟)							▶			
豊橋市単独施設建設工事									▶	

ポイント

1. 工事概要

資源化センターの敷地内において、現施設を稼働させながら第1期工事でごみ焼却施設、第2期工事で豊橋市単独施設・管理棟の建設を安全に進めます。

2. 施設概要

- ごみ焼却施設 (一般廃棄物処理施設)
417 t/日 (208.5 t/日 × 2炉)
シャフト式ガス化熔融炉
- 豊橋市単独施設
危険ごみ処理設備、剪定枝等処理設備、受入選別設備

3. 令和6年度の主な工事内容

ごみ焼却施設の土工事、地下躯体工事

事業費

17億5,051万円

お問い合わせ

施設建設室

(0532) 38-0777

shisetsukensetsu@city.toyohashi.lg.jp



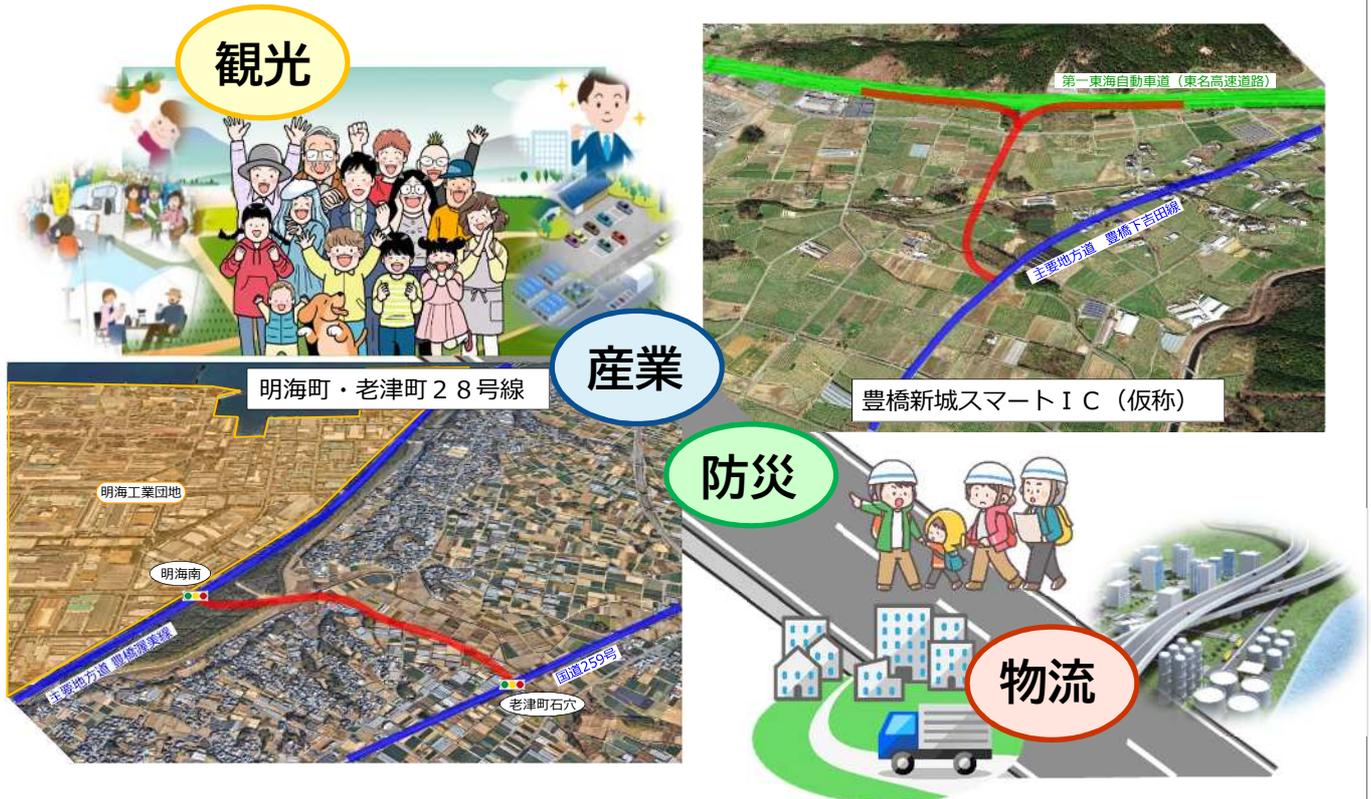
新しいごみ処理施設の
工事が本格化するに~

かん田きょう子さん



快適な暮らしを支える道路をつくれます

暮らしやすい環境の創出や、産業活動、観光誘客を推進するために、幹線道路の整備を進め、利用者の安全性や快適性、まちの防災能力を向上させるとともに、道路ネットワークの強化を図ります。



ポイント

1. 豊橋新城スマートIC（仮称）の整備

中日本高速道路株式会社と新城市とともに早期開通をめざし、引き続き道路改良工事、橋梁下部工事を進めるほか、整備に必要な用地の取得等を実施します。

・債務負担行為設定額：520,000千円（令和6・7年度）

2. 幹線市道の整備

・明海町・老津町28号線

明海地区産業基地から国道259号植田バイパスまでを整備することで、臨海工業地域の交通渋滞を緩和し、物流ネットワーク及び成長基盤の強化を図ります。令和6年度は、引き続き橋梁下部工事を進めるほか、橋梁上部工事、道路改良工事を実施します。

3. 都市計画道路の整備

都市計画道路のネットワークを構築するとともに、通学児童など通行者の安全確保を図るため、弥生町線及び大岩寺沢線の開通をめざします。

事業費

16億2,794万円

お問い合わせ

道路建設課

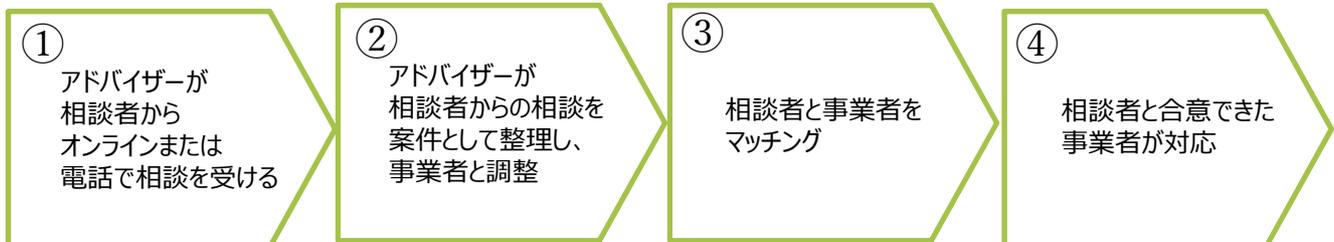
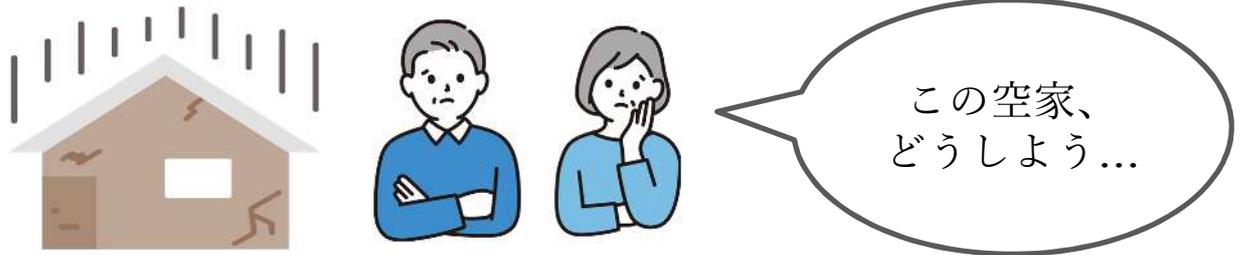
(0532) 51-2520

dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp



どうする？あなたの空家問題 専門家がオンライン等で相談に応じます

何から手をつければよいのか分からない相談者（空家の所有者など）の問題点を整理し、不動産業者や解体業者、司法書士など案件ごとに相談が必要な事業者へマッチングするために、空家対策専門アドバイザーがオンラインや電話で相談に応じます。



ポイント

1. 空家問題のワンストップ窓口をオンライン等で開設します 新規

(1) 「どこに相談したらよいかわからない」という悩みに答えます

ワンストップ窓口を設置し、「どこに何を相談したらよいかわからない」「何から手をつければよいのかわからない」という相談者の悩みに答えます。

(2) 空家の活用までのアドバイスをします

行政だけでは対応できない空家の活用についても、相談者の意思決定の参考となる提案が受けられます。

(3) 相談者と事業者をつなぎ、空家問題の解決を促します

アドバイザーがヒアリングを行い、問題を整理したうえで、それぞれの案件に適した事業者を紹介します。相談者は、依頼する事業者を選択しやすくなるため、空家問題を先送りすることなくより早い解決につながります。

事業費

224万円

お問い合わせ

建築物安全推進課

(0532) 51-2561

kenchikuanzen@city.toyohashi.lg.jp



子育て世帯や高齢者に優しい 西口住宅3号棟の建設に着手します

令和4年5月に完成した西口住宅2号棟に続き、令和6年度から3号棟の工事に着手します。1・2号棟と同様に、子育て世帯用住戸から高齢者用住戸までを整備することで、幅広い世帯に開かれた住宅をめざします。



現在の1・2号棟



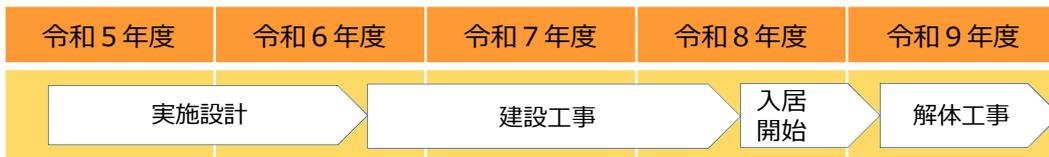
住戸内イメージ写真

3号棟 住戸情報（予定）

所在地	豊橋市高師町字北原
建物構造	鉄筋コンクリート造 7階建
敷地面積	約8,800㎡
延床面積	約5,400㎡

部屋タイプ		戸数
1DK	高齢者用	41戸
2DK	一般・子育て世帯用	57戸
3DK	一般用	6戸
合計		104戸

スケジュール



ポイント

1. 子育て世帯から高齢者まで幅広いニーズに対応 **拡充**

1・2号棟に続き、入居者のニーズに対応した設備を整えます。

入居者のニーズに対応した主な設備	
高齢者用住戸	洋室、浴室、トイレに非常用押しボタンを設置 靴の脱ぎ履きのため、玄関に椅子を設置
子育て世帯用住戸	汚れが落ちやすい壁紙を使用
駐車場	介護者専用の駐車区画を設置

事業費

9億5,430万円

お問い合わせ

住宅課

(0532) 51-2602

zyutaku@city.toyohashi.lg.jp

2. 原則敷地内禁煙を継続して実施

受動喫煙防止、火災予防を引き続き推進するため、1・2号棟で実施した原則敷地内禁煙を3号棟でも実施します。



地震に強い上下水道施設の整備や 雨に強いまちづくりを推進します

自然災害発生時における上下水道の機能維持を図るため、重要性の高い水道管や下水道管きよ・ポンプ場の耐震化を進めるとともに、浸水対策を実施します。

地震に強い水道管の設置



水道管の補強



浸水対策（イメージ）



出前講座受講者（市内在住の小学生）によるイラスト

雨水ポンプ場



ポイント

1. 自然災害に強い上下水道の推進

(1) 水道管耐震化事業（水道）

地震災害時の供給体制確立のため、基幹管路等の耐震化を進めます。

主な施工箇所：中央幹線、向山幹線、新栄幹線
事業費 17億7,000万円

(2) 総合地震対策事業（下水道）**拡充**

地震災害時の下水道の機能確保のため、重要度の高い下水道管きよ及びポンプ場の耐震化を進めます。

主な施工箇所：船町幹線、鍵田ポンプ場
事業費 5億5,850万円

(3) 雨水整備事業（下水道）**拡充**

大雨時の浸水被害軽減のため、雨水管（幹線・枝線）等を整備するとともに、基本構想を作成します。

主な施工箇所：下地排水区、八町排水区
事業費 1億1,100万円

事業費

24億3,950万円

お問い合わせ

上下水道局水道管路課[1(1)]

(0532) 51-2725

suidokanro@city.toyohashi.lg.jp

上下水道局下水道施設課[1(2)]

(0532) 46-2854

gesuishisetsu@city.toyohashi.lg.jp

上下水道局下水道整備課[1(2),(3)]

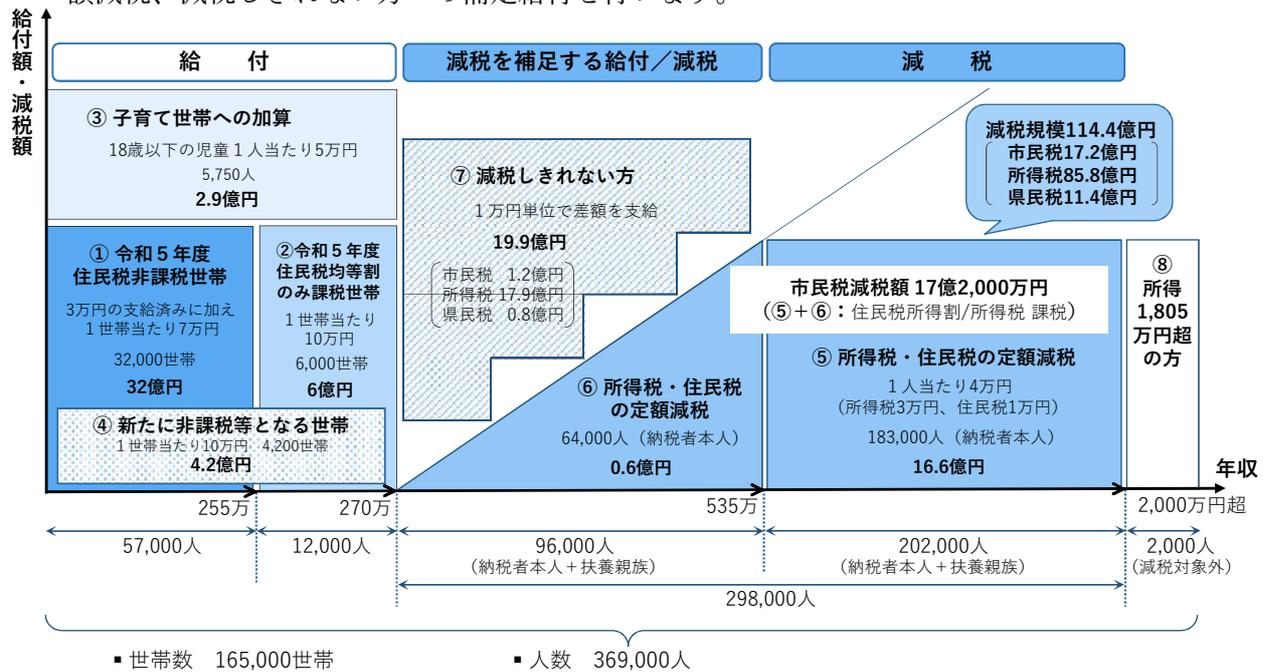
(0532) 51-2775

gesuseibi@city.toyohashi.lg.jp



給付と減税により暮らしと消費拡大を下支えします

物価高騰における市民の経済的負担の緩和や消費活動の活発化などの社会経済活動に寄与するため、国の制度に基づき、低所得世帯への給付金の給付や所得税・住民税の定額減税、減税しきれない方への補足給付を行います。



ポイント

1. 住民税非課税世帯等への給付 **新規** ※区分は上図で示したもの

区分	対象	給付額	開始予定
①	令和5年度住民税均等割非課税の方のみで構成される世帯	1世帯当たり7万円 (3万円は支給済み)	令和6年2月
②	令和5年度住民税所得割が課せられていない方のみで構成される世帯	1世帯当たり10万円	令和6年3月末
③	子育て世帯への加算 (①②④の世帯が対象)	世帯員である18歳以下の児童 1人当たり5万円	①令和6年4月 ②令和6年4月 ④令和6年8月
④	新たに令和6年度住民税均等割非課税の方のみで構成される世帯	1世帯当たり10万円	令和6年7月
	新たに令和6年度住民税所得割が課せられていない方のみで構成される世帯	1世帯当たり10万円	令和6年7月

・区分の①、②及び③の①②世帯に係るものは、令和5年度補正予算に計上し繰り越す事業

2. 定額減税及び定額減税を補足する給付 **新規**

区分	対象	減税額・給付額	開始予定
⑤	令和6年度住民税所得割が課せられている方	1人当たり4万円 (所得税3万円・住民税1万円)	令和6年6月
⑦	所得税・住民税の納税額が定額減税に満たない方	減額しきれない差額を1万円単位で給付(上限4万円)	令和6年7月末

事業費

事業費 38億 830万円
 減税額 17億2,000万円

お問い合わせ

臨時給付金事務局[1]
 (0532) 26-2271
 kyufukin@city.toyohashi.lg.jp

市民税課[2]
 (0532) 51-2203
 genzei@city.toyohashi.lg.jp

■ 全日本選抜競輪（G I）の開催

豊橋競輪場でビッグレース 全日本選抜競輪（G I）を開催します

豊橋競輪場で5年ぶりに全日本選抜競輪（G I）を開催します。全国各地から選抜された一流選手による迫力あるレースが繰り広げられ、全国から多くの来場者が集まる中、豊橋競輪場・豊橋市をPRします。



開催中はキッチンカーやステージショーなど家族で楽しめるイベントを多数実施します。

ポイント

1. 開催概要

開催名称 第40回読売新聞社杯全日本選抜競輪
開催日程 令和7年2月21日（金）～24日（月・祝）
出場選手 S級選手 108名
優勝賞金 3,800万円

2. 一般会計繰出金 拡充

競輪事業の収益の一部を一般会計へ繰り出し、小中学校の整備等に活用しています。

令和6年度予算 10.2億円

事業費

売上見込 95億円

お問い合わせ

競輪事務所

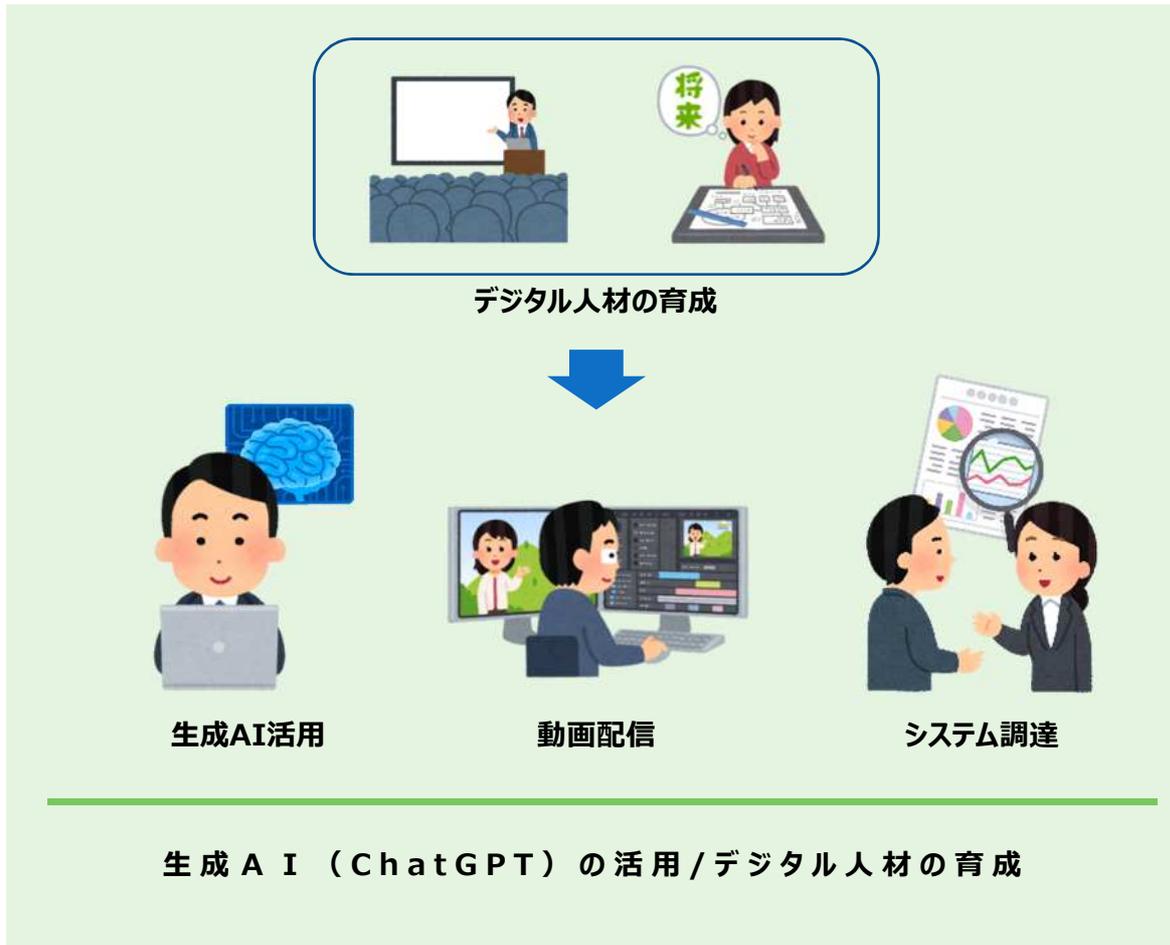
(0532) 61-3136

keirin@city.toyohashi.lg.jp



デジタル化の推進により 市民サービスの向上と業務の効率化を一体的に進めます

生成A I（ChatGPT*）を導入して業務の効率を高めるとともに、デジタル技術を有効活用することのできる職員デジタル人材の育成に取り組みます。



ポイント

1. 生成A I（ChatGPT）を活用した業務改革 新規

生成A Iを安全かつ効果的に活用することのできる環境を整備し、仕事の質と効率を高めることで、市民サービスの向上や職員の働き方改革につながります。

2. デジタル人材の育成 拡充

職員全体のデジタルリテラシーを高めるための基礎研修を継続して実施するとともに、生成A Iの活用や動画配信、システム調達など時代に合ったスキルの習得を目指す専門研修を行い、職員デジタル人材の育成を計画的に進めます。

事業費

749万円

お問い合わせ

行政デジタル推進室

(0532) 51-2081

g-digital@city.toyohashi.lg.jp

*ChatGPT … Chat Generative Pre-trained Transformerの略。大量のデータを学習し、人間のような自然な回答を提供できるA Iチャットサービスのこと。



豊橋市